

オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会 議事録

開催日時	令和3年6月22日(火) 9時05分～12時45分
開催場所	オンライン開催 (Microsoft Teams利用)
出席者	<p>(委員長) 守泉 誠</p> <p>(委員) 小海 隆樹</p> <p>澤井 和彦</p> <p>丸山 正</p> <p>(指定管理者) 以下5施設の担当者</p> <p>海の森水上競技場</p> <p>夢の島公園アーチェリー場</p> <p>カヌー・スラロームセンター</p> <p>大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場</p> <p>東京アクアティクスセンター</p>

- 目次 -

指定管理者評価制度の説明.....	1
-------------------	---

所管局一次評価

【海の森水上競技場】	6
【夢の島公園アーチェリー場】	7
【カヌー・スラロームセンター】	8
【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】	9
【東京アクアティクスセンター】	10
【全体を通しての質疑】	11

評価委員会二次評価

【海の森水上競技場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	15
二次評価審議	20
【夢の島公園アーチェリー場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	23
二次評価審議	28
【カヌー・スラロームセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	30
二次評価審議	36
【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	39
二次評価審議	44
【東京アクアティクスセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑	46
二次評価審議	50
全体整理	52

指定管理者評価制度の説明【所管局】

発言者	内容
武田課長	<p>ただ今から、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を開催させていただきます。本日は、委員の皆さまに、お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本委員会事務局、オリンピック・パラリンピック準備局大会施設部開設準備担当課長の武田でございます。本日は、コロナ対策の関係からオンライン開催とさせていただきます。ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。マスクのほうを着用させていただきます。</p> <p>それではまず、委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと思います。順番にお名前をお呼びさせていただきます。まず、公認会計士の守泉委員です。よろしくお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>よろしくお願い致します。おはようございます。公認会計士の守泉でございます。</p>
武田課長	<p>どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>続きまして、日本女子体育大学教授の小海委員です。よろしくお願い致します。</p>
小海委員	<p>小海です。よろしくお願い致します。</p>
武田課長	<p>続きまして、公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事の丸山委員です。よろしくお願い致します。</p> <p>続きまして、明治大学商学部専任准教授の澤井委員です。よろしくお願い致します。</p>
澤井委員	<p>澤井です。よろしくお願い致します。</p>
武田課長	<p>本委員会は、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会設置要綱に基づいて組織されており、同要綱の第4及び第6により、委員長及び議長は、委員の皆様の互選により決定していただくこととなっております。どなたか候補者の推薦がありましたらお願いいたします。</p>
小海委員	<p>よろしいですか。</p>
武田課長	<p>はい、小海先生お願いします。</p>
小海委員	<p>守泉先生にお願いできたらと思います。</p>
武田課長	<p>委員の皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>ただ今、守泉委員を推薦するご発言をいただき、皆様にご承認いただきましたので、委員長は守泉委員に決定させていただきます。守泉委員、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>はい、よろしくお願い致します。</p>
武田課長	<p>それでは、委員会の運営・進行につきましては、東京都オリンピック・パラリンピック準備局開設準備担当部長の柏原が務めさせていただきます。</p>

<p>柏原部長</p>	<p>それでは、私のほうから一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>東京都オリ・パラ準備局開設準備担当の柏原でございます。おはようございます。本日はお忙しいところ、お時間を頂戴しましてどうもありがとうございます。また日頃より私どもの指定管理施設の管理につきまして、色々ご指導ご厚誼を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日から、今年度の指定管理者評価制度の評価の委員会を開催ということで、まず新規恒久の5施設について、ご覧いただきます。昨年度が新規恒久初めてということで、今年2回目ということになるのですが、昨年度との一番大きな違いというのが、新規恒久におきましては大会延期に伴った、大会前の都民の方の一般の利用を行ったということでございます。これによって、新規恒久施設でも、実際のご利用の場面が出てまいりまして、そちらにつきまして、今回、評価の内容とさせていただくということになります。ただ、一方で、昨年度は新型コロナウイルスの感染症の拡大ということもございまして、指定管理者のほうでも、各施設においてその対策を問い、また今申しました一般の方の利用につきましても、新型コロナウイルスの影響によって、予定していたものができなかつたりということもある中での1年間ということになりました。こういった1年をご評価いただくということになります。</p> <p>今期の指定管理は来年度までということで、まもなく次期指定管理者の選任ということもございまして、今回、委員の皆様にご評価いただく内容につきましても、今後の指定管理者の新たな選任に向けての大きな判断材料とさせていただこうと考えておりますので、何卒委員の皆様のご知見・ご意見を頂戴いたしまして、良い評価をしていただければと思っております。どうか忌憚のないご意見を賜ればと思っておりますので、よろしく願いいたします。私からのご挨拶は以上でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>本日の委員会及び会議資料、議事録につきまして、後日 HP で公開することとなっておりますので、ご了承願います。議事録につきましては、発言内容を要約したもので作成したいと考えておりますが、ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>よろしゅうございますか。はい、では採用させていただきます。議事録につきまして、発言内容を要約したものの公開に先立ち、後日念の為に先生方にもご確認いただくことにしております。よろしく願いいたします。</p>
<p>武田課長</p>	<p>これより議事に入ります。次第に従いまして、指定管理者管理運営状況評価の流れについて事務局より説明いたします。</p>

事務局	<p>会議に先立ちまして、事務局から資料のご紹介をさせていただきます。資料については、PC のモニターにて投影をいたしておるところです。資料をご確認いただけますでしょうか。</p> <p>まず、今回の評価委員会の次第を表示させていただいております。資料は全部で7点です。資料1から資料5につきましては、事前に郵送にて送付をさせていただいておりますが、まず資料1は委員名簿になってございます。資料2は対象の施設、今回の新規恒久5施設及び指定管理者の一覧となっております。資料3につきましては、「指定管理者管理運営状況評価の流れ」、それから資料4としまして、施設ごとの一次評価の資料、資料5が、本日プレゼンをする指定管理者の管理運営状況の資料ですが、こちらは後ほど各指定管理者のほうから投影をしていただく予定でございます。そして資料6、こちらが二次評価の事務局の案でございます。そして最後に、資料7として本委員会の設置要綱をつけさせていただいております。説明は以上でございます。</p>
武田課長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今年は、例年の日程で行った場合に東京 2020 大会と重なってしまうということもございまして、開催日程を少し早めに設定させていただいております。その関係で、各指定管理者の決算関係資料が本日までには揃わないため、財務状況の確認につきましては、また回を分けてご審議いただきたいという風に考えております。</p> <p>本日は、資料2に記載しております、当局所管の新規恒久5施設について、所管局による財務状況確認を除いた一次評価をふまえ、ご審議をいただきたいと思っております。今後、守泉委員にご協力を賜りながら、局において各指定管理者の財務状況を確認する予定でございます。財務状況も含めた最終的な評価委員会の二次評価を確定するために、また7月16日に開催し、ご審議いただきたいという風に考えております。</p> <p>本日は審議に先立ち、指定管理者によるプレゼンテーション及び質疑を行います。まず指定管理者評価の全体の流れについて説明させていただきます。資料3をご覧ください。こちら評価の流れでございますけれども、まず左側の列の「確認項目」につきましては、大きく①「管理状況」と②「事業効果」ということで分けております。「管理状況」につきましては、施設管理の面、個人情報保護等の面、施設の安全性の確保の面、適切な経理処理・財産管理でございます。そして②事業効果についてでございますけれども、こちらにつきましては利用促進の取組の効果、事業内容や職員対応について利用者の方々の声等について確認をするものでございます。</p> <p>続いて左側の2列目の「管理運営状況の確認」でございますが、ご覧のような形で確認を行っております。</p>

<p>武田課長</p>	<p>資料の真ん中、所管局による「一次評価」でございます。昨年から評価方法に変更はございません。各確認項目につきまして、それぞれ指定管理者が果たすべき業務に照らして、3段階の評価を行っていただきます。また、これらの評価の得点の合計に基づきまして、S、A、B、Cの4段階に分けて評価をさせていただきます。</p> <p>また、財務状況の確認につきましては、先ほど申し上げましたが、今後、公認会計士の守泉委員にご協力をいただきながら、確認をしていきたいという風に考えております。こちら繰り返しになりますけれども、7月16日にご審議を賜りたいという風に考えております。</p> <p>それぞれ指定管理者の指定の際の特命要件が設定されている場合、2施設ございますけれども、それに関しましては継続状況についても確認をしております。</p> <p>そして資料の1番右側「二次評価」でございます。今回評価委員の先生方による専門的な評価ということでお願いする内容になっております。評価委員会は指定管理者の管理運営状況を客観的、総合的に評価するために設置し、外部委員のみの構成ということにさせていただいております。評価内容でございますけれども、一次評価の内容についての検証、そしてそれぞれの項目について専門的な評価をいただくということでございます。また指定管理者のサービス水準の向上や効率的な運営の推進等に関しましてもご助言をいただければという風に考えております。二次評価の評価基準につきましては、こちら記載のとおり4段階の評価でございます。S、A、B、Cという評価でございます。</p> <p>また、管理運営状況評価の結果において、あらかじめ定められた基準を満たす場合、次期指定管理者選定時は、加算又は減算のいずれかを行うことができることとなっております。加算を行うのは、S評価を2年以上連続して取得した場合となっております。S評価を2年、C評価を1年取得した場合には最大5%、S評価を2年、AまたはB評価を1年取得した場合には最大10%、S評価を3年連続して取得した際には、最大20%の範囲内で選定における総得点に加算することができることと定められているところでございます。指定管理者の管理運営状況、評価の流れについては以上でございます。</p>
<p>柏原部長</p>	<p>指定管理者管理運営状況評価の流れにつきまして、ご質問はございますでしょうか。各委員の皆様、よろしゅうございますでしょうか。</p> <p>それでは続きまして、各施設について、所管局による財務状況以外の一次評価の結果の報告に移らせていただきます。一次評価結果報告のあと、3施設分の指定管理者によるプレゼンテーション、質疑、及び財務状況を除く二次評価の審議を行ったあとに、それぞれ10分間程度の休憩を予定しております。全5施設の審議を実施し、終了は12時15分頃を予定しております。</p> <p>ではまず、新規恒久施設における一次評価の考え方につきまして、事務局よりご説明申し上げます。</p>

<p>武田課長</p>	<p>一次評価の基準についてでございますけれども、まず、評価項目の設定についてでございます。こちらの評価にあたりましては、施設の設置目的や指定管理者の果たすべき役割などを踏まえ、各施設の管理運営基準や事業計画に基づき、最も効率的な管理運営状況を評価できる複数の確認項目を設定してございます。</p> <p>また、令和2年度評価にあたりましては、新たな評価項目として、新型コロナウイルスへの対応というものを設けてございます。</p> <p>続いて、評価の基準についてでございます。こちらの管理運営基準等で求められている項目の実施状況等を確認しまして、従来どおり実施していれば水準どおりで1点。基準を上回る取組をなされていたという判断をされた場合には、水準を上回るとして2点。基準どおりの実施ができていない、基準に達していないと判断された場合には、水準を下回るとして0点として、設定した各確認項目について評価を行っているというところでございます。</p> <p>全ての確認項目が水準どおりであった場合は、得点の基準といたしまして基準点周辺の場合をB評価。基準点を大きく下回る場合にはC評価。上回る場合には点数によってAまたはS評価としているところでございます。下にございますように、一次評価の基準で水準を上回る場合というところで、それぞれS、A、B、Cというところで設定させていただいています。説明は以上になります。</p>
<p>柏原部長</p>	<p>ただ今の説明につきまして、委員の皆様方からのご質問はございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。</p> <p>それでは早速、各施設の評価結果について順にご報告をさせていただきます。</p> <p>最初に、海の森水上競技場の一次評価の結果につきまして、事務局よりご報告申し上げます。</p>

所管局一次評価【海の森水上競技場】

発言者	内容
武田課長	<p>まず海の森水上競技場の一次評価の結果について、ご報告させていただきます。</p> <p>資料の右側が一次評価の結果というものでございます。こちらの標準点が35点、一次評価の得点が35点で、結果B評価になっております。</p> <p>こちら資料左側、各管理状況、事業効果の各項目全てが水準どおりという評価となっております。特に管理状況に関しては適切な管理の履行について、例えば、毎日北側護岸より目視による水面の巡回点検を実施しているところ、また台風で水上競技場内に大雨が予想される場合は水門を閉め、排水ポンプを自動運転するなど適切に対応しているといったところが評価の点として挙げられています。</p> <p>また、事業効果においては、大会延期を受けて8月～12月の間、コロナの関係で都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大ガイドラインに基づき、都民利用を実施してございます。ここでスポーツ振興事業といたしまして、ボート体験会、カヌー体験会、自主事業として無料施設見学会を実施した他、無観客ライブの誘致といった取組を行った点が挙げられてございます。説明は以上でございます。</p>
柏原部長	<p>だいたい今の件につきまして、委員の皆様からのご質問、ご確認事項等ございますでしょうか。よろしゅうございますか。それでは先に進めさせていただきます。</p>

所管局一次評価【夢の島公園アーチェリー場】

発言者	内容
柏原部長	<p>続きまして、夢の島公園アーチェリー場の一次評価の結果につきまして、事務局よりご報告申し上げます。</p>
武田課長	<p>資料の右側の一次評価の結果をご覧ください。こちら標準点が 30 点、一次評価の得点が 29 点、結果 B 評価となっております。</p> <p>こちら管理状況の各項目は水準どおりになってございます。ただ、事業効果のうち、事業の取組（6）利用者の満足度が水準を下回るという評価になってございます。その他は全て水準どおりという評価でございます。こちらの理由としては、大会前の利用期間によって競技団体の利用というところがあったのですけれども、利用者アンケートの実施・回収が不十分であった点があるということで、水準を下回るという評価になってございます。</p> <p>当施設は、指定管理者を特命選定した施設でございますので、特命要件の継続の有無についても確認してございます。こちらの公園と競技施設の一体的な管理運営を行ってございまして、引き続き効率的な運営を行っていく必要があるということで評価をしてございます。</p>
武田課長	<p>管理状況のうち、適切な財務運営・財産管理の点では、芝刈りや除草にかかるコスト削減のために、下半期より芝刈り機と除草を同時に実施した点というところが挙げられています。また、事業効果の面では、競技団体との調整により、開場時間を早めて終了時間が遅くならないように配慮するなど、利用促進と感染症対策をあわせて実施した点。それから大会前利用では、芝生の保全管理の面から大会前利用とし、令和 2 年 9 月～令和 3 年 3 月末まで競技団体の大会を実施した点といったところが挙げられております。説明は以上でございます。</p>
柏原部長	<p>以上でございますが、委員の皆様からのご質問事項はございますでしょうか。</p>
澤井委員	<p>先程の利用者の満足度が低かった理由とか、電波が悪かったので聞き取りづらかったので、もう一度お願いできますか。</p>
武田課長	<p>こちら評価項目で言いますと、事業効果のうちの（6）の利用者の満足度のところが水準を下回るという評価になっています。</p> <p>その理由は、大会前利用の期間において、利用者のアンケートの実施・回収が不十分であったという点です。</p> <p>正確に言うと、アンケートの実施はしていたのですが、回収が不十分であったというところがありまして、集計でそれを取りまとめられなかったというのが明らかになりましたので、水準を下回るという評価にさせていただいております。</p>
澤井委員	<p>分かりました。</p>
柏原部長	<p>よろしゅうございますでしょうか。他にご質問等ありますでしょうか。</p>
丸山委員	<p>結構です。</p>
柏原部長	<p>それでは先に進めさせていただきます。</p>

所管局一次評価【カヌー・スラロームセンター】

発言者	内容
柏原部長	<p>続きまして、カヌー・スラロームセンターの一次評価の結果につきまして、ご報告申し上げます。</p>
武田課長	<p>こちらに関しましては資料右側をご覧ください。一次評価の結果についてですが、標準点が 35 点、一次評価の結果といたしましても得点が 35 点で B 評価となっております。</p> <p>こちらの資料の左側の管理状況、事業効果の各項目全てが水準どおりという評価でございます。管理状況についてですけれども、適切な管理の履行という点では、設備点検表及び日常設備点検表を用いて実施している点、それから施設状況に応じて逐次点検項目・点検頻度の拡充を図っているといったところ、競技運営に特に重要なポンプ類に関しては、毎週動作確認と点検を行い、状態監視に注力している点といったところが評価されてございます。それから 2020 大会後の施設利用に向けて、カヌー・スラロームセンターに限らず様々な競技団体や葛西臨海公園の新規事業者に対し、大会やイベント開催に向けたヒアリングを実施したといった点がございます。</p> <p>事業効果の点ですけれども、大会延期を受けまして 7 月～12 月の間、施設が利用できるように供用してございます。例えば、スポーツ振興事業といたしまして、カヌー体験会や遊覧のラフティング、施設見学会等、未経験の方や幅広い年齢層の方にも来場してもらえるように事業を実施してございます。説明は以上でございます。</p>
柏原部長	<p>説明は以上でございます。ただ今の件につきまして、委員の皆様方からのご質問、ご確認事項等はございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。</p>
丸山委員	<p>はい、結構です。</p>

所管局一次評価【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】

発言者	内容
柏原部長	<p>それでは続きまして、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の一次評価の結果につきまして、ご説明申し上げます。</p>
武田課長	<p>こちらに関しましては資料右側の一次評価の結果をご覧ください。</p> <p>標準点 31 点のところ、一次評価の結果といたしましては得点 31 点、B 評価となっております。</p> <p>こちらの資料左側の管理状況、事業効果、各項目全て水準どおりという評価になってございます。管理状況の点についてですけれども、適切な管理の履行という面では、施設設備の保守点検等を適切に行うというところと、あと人工芝のスポーツトラクターによるメンテナンスを使用時に実施しているといった点が挙げられています。また、施設の提供というところでは、高等学校ホッケー大会、関東学生リーグ、インカレ、社会人ホッケー大会等、主だった大会にご利用いただいているといった点があります。</p> <p>続いて、事業効果の面ですけれども、こちらの大会延期に伴いまして、令 2 年 8 月～令和 3 年 2 月 14 日まで施設の共用を行ってございます。自主事業といたしまして、ホッケー教室等を実施してございます。大会後の施設利用の可能性について、日本ホッケー協会と品川区、学校関係者と意見交換会等も実施しているという点が挙げられてございます。説明は以上でございます。</p>
柏原部長	<p>はい。説明は以上でございます。</p> <p>ただ今の件につきまして、委員の皆様方からのご質問、ご確認事項等はございますでしょうか。よろしゅうございますでしょうか。</p>
丸山委員	<p>はい。結構です。</p>

所管局一次評価【東京アクアティクスセンター】

発言者	内容
柏原部長	<p>それでは新規恒久施設の最後の施設になりますが、続きまして東京アクアティクスセンターの一次評価の結果につきまして、事務局よりご説明申し上げます。</p>
武田課長	<p>こちら資料の右側の一次評価の結果についてご覧ください。</p> <p>標準点 32 点のところ、一次評価結果といたしましては得点 32 点、B 評価となっております。</p> <p>管理状況、事業効果の各項目全て水準どおりという評価です。</p> <p>左側、管理状況についてですけれども、プール施設の管理といった面では、中央監視システムにより随時、水温、遊離残留塩素濃度、薬品残量の水質管理を行っている、換水時のマニュアルを作成しそれに従い作業を進めているといったところがございます。それから施設の提供というところでは、競技団体と調整し、日本選手権水泳競技大会等の大会を受け入れたという実績が挙げられています。</p>
武田課長	<p>それから事業効果の点ですけれども、こちら大会延期に伴いまして、昨年 10 月～令和 3 年 3 月まで施設を供用してございます。大会の開催に向けて、東京都と施設の利用範囲、日程、経費、感染症対策等を十分調整し、競技団体が希望する 2 大会を受け入れたという実績があること。それから両大会において、大会放映時の施設紹介映像の作成にも協力し、当館及び大会の PR に努めた点といったところが評価されています。また、自主事業においては、10 月～11 月にかけて初のプール利用を事故なく適切に開催した、施設見学会を実施したといった点が評価のポイントとなっております。説明は以上でございます。</p>

所管局一次評価【全体を通しての質疑】

発言者	内容
柏原部長	<p>事務局からの説明は以上でございます。今の件につきまして、委員の皆様からのご質問はございますでしょうか。</p> <p>あるいは、この間ご説明申し上げましたこと、全体を通してでも結構でございますので、ご質問ございましたらよろしくお願いたします。</p>
守泉委員長	守泉ですけど、よろしいでしょうか。
柏原部長	守泉先生、よろしくお願いたします。
守泉委員長	<p>全体のところなんですけれども、公設の Wi-Fi に関しての言及がカヌー・スラローム会場にはあるんですけれども、他の施設に関してはこの設置状況というのは、どういう状況なんでしょうか。</p>
武田課長	<p>Wi-Fi に関しましては、大会時に整備することをこれから予定しています。既に設置済みのところもでございます。それを基本的にはレガシーにおいても残していくという計画でございます。</p>
守泉委員長	<p>今のご説明では、全施設において Wi-Fi は大会の時では設置がされていると。ただそれがどの時点なのかっていうのは、早い遅いっていうのはあるっていう。それからレガシーの施設としては、その Wi-Fi を維持できるという解釈でよろしいでしょうか。</p>
武田課長	<p>はい。レガシー時にも Wi-Fi は利用できる環境になります。ただ大会時には少し過剰なスペックのところも一部はありますので、全てが全てというものではなくて、大会時のレガシーに沿った形で必要な Wi-Fi を残していくという計画になっています。</p>
澤井委員	Wi-Fi を設置するのは指定管理者の責任というか、都のほうの責任なんですか。
武田課長	東京都のほうで整備します。
澤井委員	Wi-Fi の設置のみについては指定管理者に責任はないということですね。
武田課長	はい、そうです。
澤井委員	<p>分かりました。</p> <p>僕からもいいですか。前回の時にお聞きしたと思うんですけど、HP とか今回の Wi-Fi もそうですけど、あと SNS です、Twitter 接続等の情報発信のデータがあったのかどうか探せなかったんですけど、そこら辺はどうなってますでしょうか。</p>
武田課長	<p>はい、HP とか SNS を通じた情報発信に関して、大会後に向けて指定管理者のほうで準備しているところです。ただ、昨年度都民利用を行った際にも HP を一部リニューアルしたような施設もあります。本格的な利用の受付とか利用の案内というのは、大会後になってきますので、情報発信の仕方に関して、指定管理者と定期的に都と協議させていただいて検討を進めているという状況でございます。</p>

澤井委員	それは、どこまで指定管理者の責任なのか。つまり例えば、指定管理者はやりたいたけれども東京都のほうでちょっと待ってくれと言ってる、そういうことでしょうか。
武田課長	特に東京都の方から待ってくれということはないんですけれども、なかなか大会前は指定管理者の方でも、これから施設の予約というのも始まってくるんですけれども、まだ大会前利用以外の情報発信する内容もコンテンツもないので、今この時点では積極的に出しているものは少し限られているという状況です。
澤井委員	利用が始まるのは大会後ですけれども、せっかく大会で施設に対する感心が高まる時から、本来であれば Facebook だったり Twitter だったり HP で適切にある程度情報を発信しておいたほうが、その後のアクセスに繋がるんじゃないかという気がするんですけれども、そういう準備とかしているかどうかというのは、ないですよ。
柏原部長	<p>HP 自体は5施設とも準備はしておりまして、実際大会前利用に関する情報等については、発信はしたという実績がございます。それは指定管理者のほうで整備いたしました。今もちょっとご説明申し上げました Wi-Fi は組織委員会もありまして、要は大会をきっかけに整備するものなので、これは都のほうで責任を持って整備して、レガシー時に引き渡すということになっております。</p> <p>SNS につきましては、今ご説明も差し上げましたが、まだ SNS で、例えば Twitter とかでツイートするような内容は残念ながらなくて、指定管理者のほうでそういったことをやっているっていう例はないんですけれども、今後大会後に向けてそういった SNS 等を行うということにつきましては、これは指定管理者さんのほうで実際に今後やっていかれるということで、私どものほうでも考えており、調整をするというような形でおるところでございます。</p>
澤井委員	分かりました。はい。了解です。
小海委員	小海です。よろしいですか。何点かあるんですけれども、今回オンラインでやっているの、委員会、これは公開されているんですか。
武田課長	オンライン上で、リアルタイムで公開はしていません。ただ、原則こういった会議は公開ということになっておりますので、結果に関して公開するという扱いにさせていただいております。
小海委員	緊急事態宣言等の期間中は施設の利用中止期間等はどのようになっているのか。
武田課長	基本的に都立施設の取り扱いといたしまして、緊急事態宣言の時には少し制限するような形で利用させていただいているという状況です。
小海委員	中止、制限期間みたいな感じという見方。
武田課長	はい。既に予約をいただいている内容に関しては、感染対策をきちんとやっていただいたうえでご利用いただくという形なんですけれども、新規の受付を一定の期間停止するとか、そういった形で利用に関して完全にオープンという形ではなくて、少し制限した形での利用ということで対応させていただいています。

小海委員	夢の島アーチェリー場では、先程の一次結果報告の中で、管理状況の施設の提供の中の文言で、先程気がついたんですけど、都民利用開放に協力して、今年度は全て一般受付について書いてあるんですが、それがちょっと合わないかなと思ったんですけど、これは読み方の差ですか。
武田課長	そうですね。アーチェリー場の優先受付というのが、かなり前から行うような仕組みになっていまして、原則使用する月の 16 か月前ということで優先受付の制度になっています。 今回、大会の延期を受けて施設が使えるようになったので、優先受付の期間というのが既に終わっているという状況でございました。そのため、全て一般受付で競技大会に関しても、こちらのほうで受付の手続きをさせていただいたということ。
小海委員	受付の枠組みの問題ということですね。
武田課長	そうですね。枠組みの問題です。
事務局	少し補足をさせていただきますと、一般都民利用、この線表でいうところの一般都民等の利用と、先程小海先生からお話があった一般受付というのは、イコールではないということです。受付の枠組みの話になってございます。
小海委員	分かりました。都民利用開放に協力しているという文言が誰でも使えるように読めたというか、この文言に実際に違和感があったかなということですね。でも内容は分かりました。 あともう 1 点。今日、財務評価がないと思うんですが、今日の二次評価を全部まとめるという形なんですか。仮まとめみたいな。それとも 7 月 16 日の次回に全部まとめるという形なんですか。
武田課長	財務のところ以外を除いた形で、二次の評価案というものを案として取りまとめたいという風に考えております。
小海委員	分かりました。例年やっぱりこういう時って、財務の点に関する質問とか色々出たと思うので、そこを除くとかなり限られたとこしか出ないのかなと思ったんですけど、とりあえず半分はまとめるということですね。
武田課長	そうですね。財務のところはまた日を改めてということで、最終的な評価というのはまた次の機会にはなるんですけども、今日の時点では一旦仮ということにはなりますけれども、取りまとめたいという風に考えています。
小海委員	了解しました。ありがとうございました。
柏原部長	よろしいでしょうか。他に委員の皆様からのご質問等ございますでしょうか。
澤井委員	すみません、もう 1 点だけ。前回も確か問題になったような気がしたと思うんですけど、利用者のアンケートの取り方、アーチェリー場では上手くできなかったということですが、基準を設けるとか、こういうやり方でやりましょうみたいな、揃えていこうみたいな。それはどうなりましたでしょうか。一部調査方法が分からない、調査対象がどこの誰なのか分からない施設もあったので、海の森ですかね、これ誰に聞いているんだろうってなったんですけど、それはどうなっていましたでしょうか。

武田課長	<p>前回、先生方からもアンケートを取ることを積極的にやるべきという話と、取るのであれば東京都のほうで表側、中身、内容をある程度揃えて行うほうが、より有効なアンケートになるのではないかというご指摘をいただいていた。</p> <p>それで今回我々のほうでも検討はしていたんですけども、大会前利用という限定された利用になったというところと、各指定管理者のほうでもそれぞれ元々予定していたアンケートがありましたので、まずはそちらのほうで今回に関しては実施しているというところですよ。</p> <p>それでアンケートの結果、指定管理者の方からも提供いただいている部分もありますので、今後大会後の利用の際には東京都の方でもある程度アンケートの枠組みとか内容や共通項を揃えたもので行えるように提示していき、できるだけそういったものをご活用いただくように調整のほうを進めていきたいという風に考えています。</p>
澤井委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
柏原部長	<p>ちょっと一言追加いたしますと、大会前利用に各施設取組んでいただいたんですけども、利用を実際にやるにあたっての事業の形態が、本当にその平常時、レガシー時に一般の方を受け付けるような形でやった事業と、それから指定管理者が自主事業として自分達が色んな企画をして、事業の中身を考えて、自分達の事業として受け入れる、いわば施設を指定管理者自身が借りて自分の事業をやるという形で行った事業と、パターンがいくつかございまして、それによって実は内容についても、アウトプットとして出てくるアンケートについても、多少中身が違ってくるとい部分もございます。</p>
柏原部長	<p>その辺り、この評価シートだと少し分かりにくい部分もあるかと思しますので、この後の各施設へのヒアリングの中で、実際に昨年度行いました大会前利用についての話がありました際には、もしご不明であれば指定管理者に直に実施内容についてご確認をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>はい、他にございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、一旦ここで休憩に入らせていただきまして、9時55分から議事を再開するというところでよろしく願いいたします。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【海の森水上競技場】

指定管理者：海の森水上競技場マネジメント共同企業体

発言者	内容
柏原部長	<p>時間になりましたので議事のほう再開したいと思います。委員の皆様よろしくごぞいますでしょうか。</p> <p>それではですね、これより海の森水上競技場ほか4施設につきまして、指定管理者によりますプレゼンテーション、質疑及び繰り返しになりますけれども財務状況を除く二次評価の審議を行いたいと思います。</p> <p>では、海の森水上競技場は入ってますか。</p>
事務局	<p>はい。海の森水上競技場指定管理者の皆様、ご準備よろしいでしょうか。よろしければお声をお願いします。</p>
施設職員	<p>はい。海の森水上競技場のアラサワと申します。よろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>聞こえました。ありがとうございます。それでは指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は10分間です。時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を5分程取っておりますのでよろしくお願ひいたします。プレゼンにつきましては残り3分のところでベルを一度鳴らします。また、10分経ちましたらベルを二度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それでは資料のご準備及びプレゼンテーションよろしくお願ひいたします。</p>
施設職員	<p>海の森水上競技場のアラサワと申します。よろしくお願ひいたします。私たちは令和1年度からこちらのほう管理させていただきました。昨年度令和2年度は延期となりましたが、東京2020大会に向けての準備をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策をふまえた都民開放を実施しまして、大会終了後のレガシーの運営を見据えて、お客様をお迎えしての管理運営を中心に行ってまいりました。当然当該施設を利用された方々が安心にご利用いただけるよう、4つの事前項目を掲げまして、実施させていただきました。</p> <p>資料のほうはご覧になられてますか。皆さんのほうに入っておりますでしょうか。</p>
事務局	<p>今のところ映ってないようです。</p>
施設職員	<p>映っておりませんか。すみません、データ共有ができないので申し訳ございません。1つ目ですけども、まず管理状況の中で適切な管理の履行、法令の遵守と安全性の確保という部分でございますが、その中でですね、まず4つ。1つは防災への配慮・緊急時対策というところと、事業効果の部分については団体利用状況、もう1つはスポーツ振興事業の実施状況、あと多様な利用者に配慮した案内・環境整備というこの4つを重点的に対応いたしました。</p>

<p>施設職員</p>	<p>まず1つ目ですけれども、防災への配慮のところでは、こちらについては、本施設、海の森水上競技場につきましては、艇庫棟、グランドスタンド、フィニッシュタワー等々ございますが、屋内消火栓を配置していない施設があるため、動力ポンプを使用して放水し、消火するというような施設になっています。</p> <p>今回、東京消防庁から今年の3月、前年度の3月ですけれども、動力ポンプを使用した優良防火対象物認定証、優マーク取得の認定をされました。こちらについては、本来、屋内消火栓のある所は率先して、希望されたところは取得をしているものですが、こちら、都内で動力ポンプを使った施設で認定されるということではこの施設が第1号ということです。非常にあの、屋内消火栓ですとすぐベルが鳴ってすぐ建物の中のホースとかそういったものを取ってすぐ消火にあたることのできるんですけども、こちらについては倉庫の中から動力ポンプを出しまして、それを決められた時間内にセットして放水するというようなことをしまして、これが都内で第1号という風になりました。</p> <p>続きまして、利用状況の部分になります。団体利用状況ですけれども、「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」に基づいて、こちらの海の森水上競技場の感染拡大防止対策方針を策定しまして、安心して当施設の利用をしていただきました。また、こちらの団体利用につきましては、日本ボート協会、カヌー連盟等々にもお声がけをしまして、特にカヌーはナショナルチーム、パラカヌーですね、日本代表の選手や、ボートは東京都の高校生の強化合宿というような形で、誘致することができました。また、東京都のドラゴンボート協会の皆様方については、毎月定期的にご利用いただきました。また、今回競技団体を対象にということで実施することになっておりましたけども、コロナ禍で活動が思うようにできなかったイベントですね、音楽コンサートなどの関係者も利用できるよう東京都様と協議をさせていただいたところ、当競技場においてですね、無観客ライブを誘致することができまして、新たな利用方法をご提案することができたのではないかとこの風に思っています。</p> <p>続きましてスポーツ振興事業になります。こちらについては、ボート体験会、カヌー体験会、こちらも、大会後のレガシーの運営を見据えて、実施させていただきました。特にボート・カヌーの体験会については小学生から60代の方々まで、初めてボートを体験・利用される方が利用されました。また、本来こちらの施設にございますトレーニングルーム等を利用してフィットネスプログラムというのを実施しましたが、今回非常に季節的にも良く、艇庫棟の屋上でですね、このようなフィットネスプログラムを開催しまして、東京ゲートブリッジや東京湾の素晴らしいロケーションの中で実施させていただいております。また、今回参加された皆様方には、意見聴取、アンケート調査等行いまして、小学校の低学年の参加可能なイベントの開催や、定期的にそういう教室を実施してほしいとか、また朝ヨガの開催などというような希望をいただいたので、</p>
-------------	--

施設職員	<p>可能なものについてはレガシーの運営の中で続けていきたいと思っております。また、イベントの内容の評価につきましては、非常に満足、まあ満足という方が7割以上の結果でございました。</p> <p>また最後になりますけども、外国語対応としまして日本語・英語・中国語・韓国語のパンフレットを作成するとともに、ポケット通訳機も2台導入して、今後、外国語の方にもスタッフが対応できるよう導入させていただきました。また、水上競技場の施設紹介動画を作成しまして、HPに掲載して、競技場の施設の魅力について情報発信をさせていただいております。そちらについてはこちらパワーポイントの写真でご案内します。</p> <p>まずこちらの管理状況ですけども、これは通常の当たり前の業務で、水上の清掃をしたり、ポンプの点検をしたりというようなことを実施しております。</p> <p>次のこちらについては先程申し上げました動力ポンプを使ったものです。臨港の消防署長様にお越しいただいて、授与式をしていただいたということで、こちらの右側にあるのが、これが動力ポンプで、これがホースで、このような形で準備するまでに決められた時間でしっかりと対応したということで認められております。こちらについてはコロナ対策の対応で館内の消毒、あと、こちらが団体の利用状況になりまして、カヌーの団体さん、これがボートの高校生の団体の利用、またこれがドラゴンボートさんの定期的な利用、これが先程申し上げました競技団体による無観客ライブ、これ、通常昼間ではありますけども、イベント利用の方の要望を受けまして、夜9時近くまで対応し、こういうゲートブリッジの綺麗な夜景の中でですね、こういったコンサート等も実施していただきました。</p> <p>次のページですね。これが、スポーツ振興事業の取組状況ですけども、ボート体験教室、カヌー体験教室、フィットネスプログラム、施設見学会等をさせていただいております。</p> <p>最後になりますけども、こちらのほうで多言語のマップを作成していただきましたので、表示しております。</p>
事務局	<p>この後の動画2分少々あるみたいなので、ポイントとなるところだけ表示していただくことってできますか。</p>
施設職員	<p>動画ですね、水上競技場のHPにもリンクされておまして、施設の紹介をさせていただいております。ポイントとしては、実際、海の森水上競技場というのはどういうものかというものです、建物の紹介はもちろんですけども、綺麗なロケーションの中でこういった素晴らしい競技場がありますというようなものを掲載させていただいております。</p>
柏原部長	<p>よろしいですか。</p>

柏原部長	<p>そうしたらすみません、ちょっと時間の都合でプレゼンテーションは以上ということにさせていただきたいんですけども、海の森の皆さんよろしゅうございますでしょうか。ありがとうございました。ただ今のプレゼンテーション及び施設運営等の説明につきまして委員の皆様からのご質問を受けたいと思います。時間合計5分程度とさせていただきます。では、委員の皆様よろしくお願いいたします。</p>
澤井委員	<p>多様な利用をしてもらえるようにやられているところは非常に良いなと思ったんですけど、利用者アンケートがあったんですけど、こちらのアンケートの対象は今色んな団体さんとか個人利用がありますけど、こちらのアンケートはどなたに聞いたものでしょうか。</p>
施設職員	<p>都民利用をされた、体験教室を利用していただいた方や、実際競技団体さん水面を利用していただいたお客様に、できるだけ直接会ってお声がけしたのと、あと体験教室終わった方には直接アンケート用紙を手渡ししてご記入をいただきました。</p>
澤井委員	<p>すると競技団体の方もいれば、要は競技者の方もいれば、一般のこう、ボートの。</p>
施設職員	<p>そうですね、はい。参加された方も入っています。</p>
澤井委員	<p>アンケートを取られる場合は、対象をまず明確にさせていただいたほうがいいと思うんですね。誰に聞くのかというのを分けて集計をしてください。競技者の方と、初めてボートを漕いでみたみたいな方では、多分評価全く変わってくるので、必要なサービスとか、対応が違ってくるので、それを一緒に混ぜちゃうとちょっと訳わからなくなるので、調査対象、アンケートした対象の方、競技団体、競技者の方に聞きました、そうしたら満足度このくらい、で体験利用された方に聞きました、満足度はどれくらい、という感じですね。</p> <p>たぶん体験利用された方はまあ殆ど満足しておられるんですけど、例えば競技されている方は色んな戸田とかね、色んな競技施設と比較してちょっと辛口になったりしたりするかもしれませんし、需要もニーズも違ってきますので、それは分けてアンケート取って、きちんと分析されると、競技者のニーズはこうなんだけど、ちょっとこういうところに指摘があるとかもですね、それが変わってきますので、そこがちょっと注意してアンケート取っていただければなという風に思います。</p>
施設職員	<p>はい。承知しました。</p>
柏原部長	<p>他にご質問ご意見、委員の皆様の方からございますでしょうか。</p>
丸山委員	<p>後半の都民利用といったことでいいんですけど、小学校低学年が参加可能なイベントの開催っていうので、低学年にも参加できるっていうところ、説明いただけませんか。どんな風にしたのか。お願いします。</p>

施設職員	<p>実際、低学年、特にボート・カヌーというのは、やはり3年生4年生くらいの方からという風に、これまでの実施というか、団体さんからも聞いておまして、なかなか低学年1年生2年生というのは、非常にサイズ、ボートの大きさとか、そういった点が難しいという風に聞いておりました。ただ、水面を漕ぐだけではなくて、色々あのローイングマシンとか、そういった機材がありまして、モニターでボートを漕ぐような引っ張るものなんですけど、そういうものとかも体験してもらって、もうちょっと大きくなったら本番になれるよというようなものとか、そういったことを協会さんと相談をして、実施できればなという風に思っております。</p>
丸山委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
柏原部長	<p>他にご意見ご質問ございますでしょうか。他の委員の皆さんよろしゅうございますか。</p>
澤井委員	<p>一言お願いと言うか、質問というかですけど、色々イベントを誘致されているのをすごく好意的に拝見しました。ライブイベントとかぜひ引き続き頑張っていたきたいんですけども、せつかくの施設ですから、色々ボートとかカヌーとかに限らず、色々可能性のある水上競技を誘っていただくというか、利用していただくように色々やっていただくと良いのかなという風に思います。そのボートとかカヌーだけに限らず、使える水上競技、水上スポーツみたいなものを、色々考えて探していただいて、是非広く多くの方に使っていただけるようにしてあげればなと。もちろんライブのイベントなども含めて。ぜひ頑張ってください。</p>
施設職員	<p>ありがとうございます。</p>
柏原部長	<p>ありがとうございます。委員の皆さんよろしゅうございますでしょうか。それでは、お時間もございますので恐縮でございますが、これから審議に入りたいと思います。海の森水上競技場の皆様ありがとうございました。ご退出をお願いいたします。</p>
施設職員	<p>ありがとうございました。</p>
柏原部長	<p>お疲れさまでした。</p>

二次評価の審議【海の森水上競技場】

発言者	内容
柏原部長	<p>それでは、審議のほうお願いしたいと思います。審議の進行は、委員長にお願いしたいと思います。守泉先生、よろしく願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>では続きまして海の森水上競技場の財務状況を除いた二次評価案について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
武田課長	<p>それでは、二次評価案について説明させていただきます。先生方ですね、4人全員がB評価ということで評価いただいています。</p> <p>まず、管理状況についてですけれども、先生方からは気象環境の変化の影響を直接受ける施設ではあるが、問題なく管理が実行されたこと、また、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、ほぼ、評価水準通りに適正な管理を行っている点といったところが、評価をいただいています。また、事業効果のところでは、コロナ禍の中ではあるが、2020年9月～12月にかけて、施設利用が問題なく行われているといった点が、評価をいただいています。</p> <p>また、今後取組むべき点といたしましては、今後も利用者の要望に的確に対応できるよう取組むべき点といたるところですとか、ステークホルダーとの連携やボート競技に限らず各種イベントの誘致も取組むべきといった点で、ご指摘をいただいているといったところがございます。説明は以上になります。</p>
守泉委員長	<p>それではですね、海の森水上競技場の評価について、皆さんB評価ということで一致はしているんですが、それ以外のこととして、何か審議すべきような文言とかそういう点があればと思いますので、その辺のところをご審議いただければと思います。ちょっと時間押してますので、5分も取れないのかなとは思いますが、よろしく願いします。</p>
澤井委員	<p>全体に通じる話なんですけど、前回もたぶん話があったと思うんですけど、守泉先生からもあったと思うんですけど、これどうやったらAになるんですけど。さっきの一覧表の事前評価を拝見していて、これってどうなったらAになるのかな。なんとなく、評価をしてもですね、僕もしょうがないのでなんとなくB、特にこの1年は利用者がそれなりに制限された中でやられていますので、あんまりこう、評価できるような部分、その割にはよくやってるなと思っていたんですけど、ちょっとよく分からないところではあるんですけど、いかがでしょうか。</p>
柏原部長	<p>その点についてですね、事務局のほうから、再度ですね、評価につきましての概要をご説明させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>

武田課長	<p>先程も少し触れさせていただきましたけれども、評価の水準を4段階ということにさせていただいております。A評価というのが、管理が良好でですね、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められる点ということで、これまでの例で言うそうですね、収益の向上の取組だとか、年間の稼働率が従来に比べてだいぶ大幅に改善したとかですね、1年を通じて優秀な取組が見受けられた点とかが、評価されているというところがあります。</p> <p>今回新規恒久施設に関しましては、冒頭にも説明を少しさせていただきましたけれども、大会前で一部都民利用ということを行いましたけれども、組織委員会の仮設物があったりですね、新型コロナというところで、少し制約がかかる中での運用という面ではあるんですけども、なかなか成果が出しにくい外部環境があったのかなというところがございます。</p>
澤井委員	<p>分かりました。そうしますと僕らの考え方としては、今、むしろ今後の評価のための基準になる評価になっているという考え方で良いか、という感じですかね。</p>
武田課長	<p>はい。そうです。</p>
澤井委員	<p>そのあとどんどん利用が増えていって、彼らが頑張った時に、それをAとかSとかという評価をしてあげれば良いというような、そういうようなイメージでいいでしょうかね。とりあえずは。</p>
武田課長	<p>はい。そういう風にご理解いただければと思います。</p>
守泉委員長	<p>他に何かありますでしょうか。私から一言なんですけど、澤井先生もお書きいただいているんですけども、HP、SNSでの情報発信の部分っていうのが、事業効果のところにも書かれているんですけど、大会の前とそれから実際に大会後に施設を運営していく段階とでは、HP、SNSを介しての情報発信の仕方に関して、だいぶ違いがあると思うんですよ。</p> <p>むしろ例えば大会前ですと、色々法的な制約がございますので、これに関してはこうだっていう、その後に関してはある程度は基本的な個人情報等のルールを守った形で、こういう形でっていうのはあるかと思うんですけど、その辺って、ルール作りっていうのは何か都のほうでやられているのでしょうか。</p>
武田課長	<p>特に、情報発信にあたってのルール作りっていうのは、積極的に事業効果などを出すために情報発信していただくっていうことはしています。</p> <p>ただ一方でやはり個人情報の取り扱いとかですね、そういった法令上必要となるものに関しては遵守していくということはあるんですけども、事細かに何かですね、子細に渡って取り決めをしているというものはないです。そこは東京都と指定管理者との間で協議していただいて、指定管理者のほうからこういった提案があれば、都のほうでも相談に乗ってですね、適宜対応していくという対応をとらせていただいています。</p>

守泉委員長	<p>ありがとうございます。よろしいでしょうかね。今回のところだと、先程事務局のほうからもお話があったように、どうしても、例えば事業効果のところとか、その辺のところの業務上の制約があるので、評価のところでもAやSが付くという得点の余地がなかなかないということで、だいたいまあB、何か問題が起こるとCになってしまうというところで、皆さんもBということで、共通な形になったかと思います。</p>
守泉委員長	<p>まあその結果を受けまして、他にご意見等が無いようでしたら、海の森水上競技場の財務状況を除く二次評価について、皆さんの総合評価にあわせたBということにしたいと思うんですけども、それに関して、ご異議が何かありますでしょうか。よろしいでしょうかね。ご異議がないようですので、では財務状況を除く二次評価について、Bということでさせていただきたいと思います。</p> <p>それぞれの管理状況、事業効果の部分、この辺の部分の説明のところを何かまとめた形と、それから事務局案のところ合わせた形で、まとめて指定管理者のほうに報告をするんですよね。それどうなんですか。</p>
武田課長	<p>はい。そうですね。指定管理者のほうには二次評価の結果ということですね、こちらのほうからフィードバックさせていただく予定ですね。</p>
守泉委員長	<p>その辺で、文言のすり合わせで何か問題になりそうなところは、今のところない、大丈夫ですかね。</p>
武田課長	<p>そうですね、少しちょっと分かりづらいところも、もしかしたらあるかもしれないので、ちょっとこちらのほうでも一度、指定管理者に返す前に、また先生方にも目を通していただいて。</p>
柏原部長	<p>指定管理者のほうに、委員の皆様からいただいた意見をフィードバックする際に、このままの形で出すわけではないんですけども、主だった意見ということで、伝えるということにしておりますので、またその際には今あの委員長からございましたように、文言についてはですね、事前に先生方とすり合わせ調整はさせていただきます。</p>
守泉委員長	<p>はい。どうもありがとうございます。では、進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【夢の島公園アーチェリー場】

指定管理者：アメニス夢の島グループ

発言者	内容
柏原部長	<p>それでは続きましてですね、夢の島公園アーチェリー場の指定管理者によりますプレゼンテーション、質疑及び財務状況を除く二次評価の審議を行いたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>これから指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は 10 分間です。時間厳守でお願いいたします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を 5 分程取っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>プレゼンにつきましては残り 3 分のところでベルを一度鳴らします。また、10 分経ちましたらベルを二度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンテーションのほうよろしくお願いいたします。</p>
施設職員	<p>まず令和 2 年度の管理状況ということでご説明をいたします。管理状況、適切な管理の履行というところでは、管理運営基準に則り、年間 15 回の芝刈りを実施しました。芝・雑草の成長期と停滞期とでメリハリのある芝刈りを実施したということで、夏場は多く、秋からは少なくということですね。今まで、芝刈りと除草を個別に実施していたものを同時に行うことで、コストダウンが図れました。初年度は非常にコストがかかって、給水車とか用意したりして、芝刈りと除草を個別に実施してたんですけど、これを一緒にすることで大幅なコストダウンが図れたということです。</p> <p>優先受付、利用料金の減免も適切に実施いたしました。減免の際には利用者に対してきちんと告知を行いました。また、日頃のコミュニケーションにより、計画を上回る施設利用料金を獲得できた。これが大きいです。オリパラ準備期間という制約のある中で、利用促進に繋がられたということです。</p> <p>続きまして、施設の清掃・警備ということでは、強い風雨により落ち葉や泥等が溜まるため、日常目視点検を昨年引き続き実施をいたしました。利用者、各業者への鍵の貸し出しに際しては昨年に引き続き「鍵貸し出し管理表」に記載して、貸出先、貸し出し鍵の種類、本数を管理して、鍵の紛失防止と盗難防止に努めました。</p> <p>施設・設備の保守点検というところでは、毎日の清掃に加え、日常的にも点検業務を実施したと。法令義務のある消防点検も実施いたしました。また、樋、枡の清掃も年間 2 回を実施して、利用者にとって快適な環境作りと安全性の向上に努めました。的台を運ぶ台車が 2 台程パンクをしてしまいまして、タイヤを交換することで利用者にとって元の生産性に戻ったということで、台車 1 台につき量が 6 枚ぐらい運べるんですけども、これが 3 枚、2 枚しか運べなかったのも、非常に苦労していたということで、急務であったということです。</p>

<p>施設職員</p>	<p>施設の提供についてというところでは、昨年同様 2020 大会を控えて、全日本アーチェリー連盟、東京都アーチェリー協会等によるアーチェリー競技に限定した使用を行って、会場の良好な維持に努めたということで、アーチェリーしかさせないことによって芝の状態を良好に保ったということです。</p> <p>人員配置。アーチェリー場は東京都建設局管轄の夢の島公園に設置された施設であって、同一の指定管理者で管理運営を行っています。よってアーチェリー場の業務においても連携した対応を行うことで、管理水準を高めると共に効率的な運用を図りました。</p> <p>法令等の遵守というところでは、個人情報保護の取組というところで、東京都建設局の夢の島公園・夢の島熱帯植物館と連携し「個人情報保護」に関する研修を、時節柄リモートにて実施いたしました。コロナウイルス緊急事態宣言下の試合で、選手・役員の一人名の個人情報をマニュアルに従って体調管理シートの回収という形で行ってもらいました。それと共に「コロナ見守りサービス」登録の促進を口頭と POP により図りました。</p> <p>次に、環境配慮への取組というところでは、アーチェリー場内においては、除草剤や害虫駆除剤は使用せず、利用者の安全性と安心感の向上に努めたということです。</p> <p>都への連絡・報告というところでは、前年と異なり大型の台風等はほとんどなかったんですけども、地震の連絡等は、密に連絡を取って報告をしたということです。</p> <p>続いて安全性の確保というところでは、小中学生大会というのが実施されたんですけども、そこで築山の上に防矢ネットを立てて様子を見てみたんですけども、築山を越える誤射はまったくなかったということで、そもそも築山まで矢は当たらないというところはあったんですけども、別の大会、江東区アーチェリー協会さんの大会では、金属探知機を使用して、的を外れた矢の早期発見を行って、スピーディーな試合の運営が実現できたということです。</p> <p>防災への配慮・緊急時対策のところでは、夢の島公園・夢の島熱帯植物館と連携して避難訓練を行い、これは 11 月 24 日ですけども、併せて災害時の時に緊急利用を行う簡易トイレの組み立て、これはアーチェリー場の南側にあるんですけども、トイレに設置された簡易トイレの組み立ての実習も行って、緊急時の対応力の向上に努めたということです。</p> <p>事業効果というところでは、利用状況、オリパラ予選をはじめとして、東京都強化記録会、小中学生大会、強化部記録会、第 2 回 70m R 大会、関東学連記録会、サンライズカップ、東京都アーチェリー協会の大会等すべて 9 試合、17 日間を実施しました。</p>
-------------	--

施設職員	<p>事業の取組という点、サービス向上に向けた取組というところでは、日本身体障害者アーチェリー連盟様が過去の経緯によって、情報があまり行き渡っていない状況でして、かといってパラの予選ということで非常に大事な試合だったんですけども、どうしようかといったところで、全日本アーチェリー連盟が主催のオリンピック予選会の、こういう器具の取り付け方をしますよ、こういう的台の貼り方をしますよといった画像を共有して、一方で報道陣への対応の仕方等もご案内して、結果、功を奏して高い評価をいただいたということです。唯一実施したアンケートの中では、とても高い評価をいただきました。</p> <p>最後、新型コロナウイルスへの対応というところでは、コロナ緊急事態宣言下の大会実施。予約は緊急事態宣言前に行われたので、「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」に則って、当日の検温、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの励行、体調管理シートの提出義務、コロナ見守りサービスへの登録の励行、試合時以外ではマスクをちゃんと着けてくださいよといった徹底した感染症対策によって、これは主催者と連携して強化徹底を図りました。</p> <p>また、緊急事態宣言下以外でも、宣言期間中と同様の基準で徹底を図ったということです。以上でご説明は終わりです。オリンピック予選、オリンピックを控えたということで、アーチェリーに限定した用途で運営した1年だったんですけども、何とか乗り越えられたかなという感じがいたしました。プレゼンは以上とさせていただきます。</p>
柏原部長	<p>はい。ありがとうございます。以上でプレゼンテーション終了でございますが、これをふまえてですね、委員の皆様方より質問等がございましたら、お願いいたします。時間5分程度ということでお願いいたします。では、委員の皆様方どうぞ。</p>
小海委員	<p>ご説明ありがとうございました。今映っている資料の、施設の提供、一番上のところに記載されていることで確認したいんですけど、2点あるんですけど、真ん中に利用料金の減免ということが書いてあって、HPを見たところ減免のことは書いてなかったの、どういう形で減免しているのかなというのが1点です。もう1点は、その下の日頃のコミュニケーションによるっていうのが、内容がよく分からなかったの、そこを伺いたいと思います。以上です。</p>
施設職員	<p>はい。減免っていうのは、都知事が承認した案件だとかですね、その他諸々で、50%ほどの利用料金だけに発生する減免です。それと、あとはコミュニケーションという点では、試合の始まる前、始まった後、それと試合後、お電話等でコミュニケーションを図っているということで、結局鍵を渡して使っていただくというのではなくて、鍵を自分で開けて利用者に入っていて、終了したら鍵を閉めて、ご挨拶をしてっていうようなコミュニケーションの取り方を行いました。</p>

小海委員	すみません、最初の減免の都知事がっていうのがよく分からなかったんですけど、私がよく知らないだけかもしれないんですけど、対象はどういう方なんですか？
施設職員	少々お待ちくださいませ。すみません。
小海委員	実際利用されているのが、大会関係だと思んですけど、そういう公式の大会には全部減免がつくとか、そういうイメージでしょうか。
施設職員	いえ、そうとは限らないんですけども、例えば、1つとして日本体育協会及びこれに加盟する競技団体、2点目が、東京都体育協会及びこれに加盟する競技団体、で、日本障がい者スポーツ協会及びこれに加盟する競技団体。東京都障害者スポーツ協会及びこれに加盟する競技団体ということで、8つほど項目があるんですけども、これに則った形かどうか確認させていただいて、そのうえで減免をさせていただいたということです。
小海委員	はい、分かりましたありがとうございます。
柏原部長	他にご質問、ご確認事項ございますでしょうか。
丸山委員	以前ですね、アーチェリー場の芝生の利用について伺ったことがあるんですが、今オリパラの直前ですから、そういうことやってないと思いますけれども、芝生の利用ってどんな利用があるんでしょうか。
施設職員	アーチェリー以外ですか。
丸山委員	はい。
施設職員	アーチェリー以外ですと、スポーツ大会の実施だとかですね、あとは、自由な広場として皆さんに遊んでいただくだとかですね。
丸山委員	実際に開放ってやられていたわけですか。
施設職員	いや、開放は一切していません。
丸山委員	してないですか。
施設職員	はい。オリンピック・パラリンピック終わるまでは開放はしません。
丸山委員	はい、やっぱりね。分かりました。ありがとうございます。
柏原部長	よろしいでしょうか。他に。
守泉委員長	はい。守泉ですけど、よろしいでしょうか。
柏原部長	はい。お願いします。
守泉委員長	システム面のところで、内閣サイバーセキュリティセンターの JIPS というのを入れているということなんですけども、不正アクセスの可能性といった時にはこれ、HP に入ってくる不正アクセスっていうことで考えているのかな。あとは予約システムのところか何かで、入ってくるところで考えられているのか、これどこの部分でどういうリスクを考えられたのでしょうか。
施設職員	はい。あの Web ですね。 予約システムはまだ稼働しておりませんので、Web です。

守泉委員長	そうすると、これはそちらの団体だけではなくて、他のところでもそういう可能性はあり得るということで、標準的に本来であれば導入したほうが良いということですかね。
施設職員	何をでしょうか。
守泉委員長	同じような他の施設でも、HP とかっていうのはやっていますので、HP に対して、例えばクロスサイトスクリプティングとかそういうのを埋め込まれるとかそういうことって、全くリスク的には同じだと思うんですね。ですから、別に、他の団体でも本来は同じことが言えるということです。そちらのほうとしては、特にそのリスクを考慮しましたというお考えですよね。
施設職員	はい。そうです。
柏原部長	ありがとうございます。 他にご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。 それではですね、他に質問等ないようでございますので、審議に入りたいと思います。夢の島アーチェリー場の皆様、これでご退出をお願いします。ありがとうございました。

二次評価の審議【夢の島公園アーチェリー場】

発言者	内容
柏原部長	それではですね、夢の島アーチェリー場の皆さまが退出されましたので、以降の進行を委員長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。
守泉委員長	ありがとうございました。では続きまして、夢の島公園アーチェリー場の財務状況を除いた形での二次評価案につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。
武田課長	<p>はい。説明させていただきます。こちらですね、先生方4名全員がB評価と評価いただいております。特にですね、管理状況のところでは、点検・保守を必要とする施設・設備が少なく、経年劣化による不具合も少ないため、簡易な形で効率的に対応しているといった点、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、ほぼ評価水準通りに適正な管理を行っているといったところが評価いただいております。</p> <p>また、こちら改善点というようになるところになるのでしょうか。今後ステークホルダー、特に競技団体との連携・協働や、アーチェリー以外の事業、イベントの開発・誘致に取り組むべきだ、といった点ですね、ご指摘いただいているところでございます。以上でございます。</p>
守泉委員長	ありがとうございます。それでは夢の島公園アーチェリー場の評価につきまして、皆さんの評価がBということで、共通はしているんですが、その中身の部分、特に事業効果のあたりのところでは、澤井先生けっこうお書きになられているんですけど、まずちょっと、澤井先生のほうから簡単にお話しいただければと思います。よろしく願います。
澤井委員	<p>色々書かせていただきましたけれども、今、話を聞いているとやっぱりオリパラ前で色々制限があるということですので、その制限のある中でやられているということで、よく理解しまして、ただまあ、終わったあと、しっかり運営していただければなという風に思っているところですね。</p> <p>ちなみに質問なんですけど、アーチェリー場って芝生でなきゃいけないというか、芝生ってけっこう大事なんですかね、アーチェリー場にとっては。</p>
武田課長	大会前はですね、カメラ映えとかですね、そういった部分もあるので、非常に今綺麗にしています。大会後、維持管理の面ですね、コストもだいぶかかるということもあるので、そこに関しては大会後の競技団体さんの利用の意向なんかも聞きながら、どの程度の水準で管理していくのかっていうのは、今後検討していきたいと思っています。
澤井委員	オリンピック・パラリンピックの時はやっぱり綺麗に見せたいということですよ。
武田課長	はい。

澤井委員	<p>分かりました。競技であったら、すごく芝にこだわる競技。もちろんね、サッカーとか当然こだわるのはあたり前なんですけども、そこに過剰なコストをかける、あるいはそこを傷めたくないから使いたくないみたいなことは、あるのかなってちょっと気になったんですけど、まあそういうことでしたら分かりました、大丈夫です。</p>
守泉委員長	<p>あと4点、昨年ですかね、澤井先生のほうからもお話があったと思うんですけども、このような、例えばコロナの状況で利用制限がされている場合に、ここで働いてる人達の管理状況として、スタッフの雇用条件、委託先の契約内容っていうことが書かれているんですけども、縮小した場合のその辺のあり方っていうのはどういう形でされているか、事務局としては把握されていらっしゃるでしょうか。</p>
武田課長	<p>はい。あの、縮小というかですね、通常だと指定管理者の事業計画に関しては、前年の年度末辺りに翌年度の事業計画ということでいただいて、それを承認して事業を行っていただくんですけども、昨年度に関しては、大会が延期になって都民利用ですね、急遽行うことになったというところと、あとそれに関してコロナの影響が出てですね、若干体制面や事業計画に変更がありましたので、そういったところ、ヒアリングとですね、修正の事業計画っていうのをを出していただいて、東京都としても承認してきたという経緯がございます。そういったところの中身に関しても、こちらのほうでですね、柔軟に対応しているといったところでございます。</p>
守泉委員長	<p>澤井先生、今のようなお答えでよろしいでしょうか。</p>
澤井委員	<p>仕方がないのかなと、思いますね。ぜひ気をつけていただければと思います。</p>
守泉委員長	<p>それ以外何かご意見とかございますでしょうか。</p> <p>無いようですので、ご意見が無いということで、それで評価自体は皆さん統一化していますので、夢の島公園アーチェリー場の財務状況を除く二次評価に関しては、Bということで、この内容にさせていただきたいと思います。</p> <p>じゃああの、事務局のほうにお戻しさせていただきます。</p>
柏原部長	<p>はい。ありがとうございました。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【カヌー・スラロームセンター】

指定管理者：株式会社協栄

発言者	内容
柏原部長	<p>引き続きまして、カヌー・スラロームセンターの指定管理者によりますプレゼンテーション・質疑及び財務状況を除きます二次評価の審議を行いたいと思います。</p> <p>それでは、これからカヌー・スラロームセンターの指定管理者の皆さんに入室していただきます。</p>
事務局	<p>それではカヌー・スラロームセンターの指定管理者さんによるプレゼンテーションを行っていきたいと思います。プレゼンテーションの時間は10分間です。時間厳守をお願いいたします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を5分程取っておりますのでよろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては残り3分のところでベルを一度鳴らします。また、10分経ちましたらベルを二度鳴らします。その時点で終了とさせていただきます。それでは、資料の表示、プレゼンテーションをよろしくお願いいたします。</p>
施設職員	<p>ありがとうございます。株式会社協栄のイシイと申します。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。時間が限られおりますので、抜粋してご説明いたします。</p> <p>まずはじめに、施設の保守点検についてご説明いたします。確実な日常点検の実施と主要機器に関しては、直接施工メーカーによる点検を実施することで、いつでも安心して施設をご利用いただける状態を保ちました。具体的な取組としては、蓄積したデータから定めた、各設備機器の管理基準値を検針票やメーター自体に記す等の工夫を行うことで、従業員の誰が検針を行っても異常を確実に検知できる仕組みを整備いたしました。また、実際のコース運用では、トランシーバーを活用し、利用時前後の揚水ポンプの稼働開始と終了をつつがなく行うことや、補給水の手動管理の徹底を行うことで無駄を省き、省エネの推進に努めました。</p> <p>次に、水上競技場施設の維持管理について説明いたします。昨年度はコロナ禍で限定的な施設提供となりましたので、この状況を活用し、東京2020大会を見据えたプールの苔対策テストを行いました。大型水中クリーナーによる清掃や薬剤メーカー協力のもと、薬剤投入などを実施しました。その結果をもとに1月、2月、換水清掃後は薬剤投入による水質コントロールを行い、現在に至るまで苔がほぼないクリーンな状態を維持しております。また、日陰の少ない施設であることからベルトコンベアー頭上にサンシェードを設置して日陰を作るなど、熱中症対策に取り組ましました。</p>

施設職員

その他、オブスタクルブロック上に鳥除けの設置や、オブスタクルブロックの流出防止のための固定金具の追加取り付けなど、施設の特性をふまえた管理を実施しました。

次に、人材育成についてです。カヌー・スラロームセンターでは昨年度の状況下においても、少しでも安全に安心して施設を利用いただけるよう、また、従業員自身の健康を守れるよう、東京都の新型コロナウイルス感染対策マニュアルに準じた施設独自のマニュアルを作成し、従業員教育に努めました。また、国内初の人工コースに適した水上レスキューのためのマニュアルの策定及び訓練の実施、指定管理者制度に係る資格の取得など、利用が少ない状況下においても、いつでも施設を開場できる準備をしておきました。施設の提供につきましては、昨今のコロナ情勢で厳しい中ではありましたが、利用動線の工夫や入退管理、消毒作業等、新型コロナウイルス対策を講じた上で、できうる限り積極的に施設を提供しました。また、東京 2020 大会後の利用を見据えた大会やイベント誘致のための活動として、日本カヌー連盟への聞き取りや、日本カヌー連盟以外の競技団体、葛西臨海公園駅の新規事業者などへヒアリングを実施しました。

続きまして安全性の確保について説明します。設備面の安全性の確保としまして、常駐スタッフにより簡易修繕の対応の推進をしました。競技施設のクラック補修やボートコンベアの不具合対応などメーカーや施工業者に問い合わせをしながら、常駐スタッフにて積極的に修繕を実施することで、迅速な対応と施設への理解を深めることにつなげることができました。

防災への配慮と緊急時対策としましては、災害時一時滞在施設としての備えや、葛西消防署や葛西警察署など各所との打合せに積極的に参加し、連携体制を確認しておきました。葛西警察署においては現在も定期的に連絡を取り、巡回を強化いただいております。

次に事業の実施について、取組状況を報告いたします。東京 2020 大会に向けた準備と並行し、スポーツ体験の機会を提供し、施設の認知度を上げる事業を実施しておきました。今年度は新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら、終日無料開放イベントとして、カヤック体験やラフティング体験などを実施しました。施設見学会も開催し、小さなお子様から高齢者まで幅広い年齢層の方のご参加と、メディアからの取材も複数受け、施設認知度向上に寄与する事業となりました。また、障害者スポーツ振興への取組として、日本障害者カヌー協会に要請し、施設視察をしていただき、共同事業実施に向けた打合せのほか、施設バリアフリーの強化、特に水面へのアクセス向上に向けた取組の第一歩をスタートすることができました。

自主事業の実施状況としましては、昨年度の事業アンケートから抽出された要望のうち、ラフティング参加年齢の引き下げやカヤック事業で技術が低い方が参加できる事業の追加など、多くの層の方が利用できるよう、また、コロナ禍であっても安全に参加できるよう、東京都にご協力をいただきながら実施いたしました。

<p>施設職員</p>	<p>利用者ニーズの満足度を把握するために、自主事業参加者に対するアンケートや競技団体へのヒアリングのほか、官公庁の訓練やロケ地利用等、スポーツ以外の利用に関連する団体へのヒアリングや、HP を活用した施設のニーズ調査を実施しました。自主事業参加者のアンケートでは、「とても満足」または「満足」と回答された方の割合が、ラフティングツアー・上級者カヤック練習会、いずれも90%以上と、大変満足度の高い結果を得ることができました。東京 2020 大会後の計画への糧とすることができたと思います。</p> <p>カヌー・スラロームセンターは、国内初の施設であり、カヌー・スラロームという競技もまだまだ日本では認知度の低いスポーツであることから、これからも施設の認知度を高めていくことが求められると考えられます。この取組の1つとして、施設のプロモーションを目的としたビデオを作成しました。カヌー・スラロームセンターがどのような施設であり、どのような使用ができるのかを知っていただける内容となっております。最後にこちらをご覧くださいと思います。再生の準備を行いますので少々お待ち下さい。ありがとうございました。</p> <p>【動画再生】</p> <p>以上となります。ありがとうございました。</p>
<p>柏原部長</p>	<p>ありがとうございました。プレゼンテーション以上でございます。</p>
<p>柏原部長</p>	<p>それでは、ただ今のプレゼンテーション及び施設運営等につきまして、委員の皆様からのご質問ご確認事項等お願いいたします。</p>
<p>守泉委員長</p>	<p>この施設というのは、建築の世界からすると、かなり特殊な部分で、初期の不良というのがいろんな形で出ても、設計上当然だと思うんですね。例えば、水を入れていたら、あるところで例えばコンクリートが欠けてしまったとか、何かそういうようなことって普通にあっても当然ですし、それから機械の初期不良というものも、あってもおかしくはないと。それから藻や苔が発生した部分に関して、どうやって対応するのかと。その辺の状況について、ここまでのところで何かご苦労があったり、こんなことがありましたっていうのをちょっとお聞かせいただければありがたいんですが。</p>
<p>施設職員</p>	<p>はい。私のほうからお答えさせていただきます。協栄のムトウと申します。</p> <p>まず1点目の、建設当初からの不具合とうことで、ご懸念いただいているとおり、やはり、大きな不具合は幸いまだありません。ですが、ご懸念のように、コンクリートのクラックというのが、多く発生しています。こちらについては、施設特性上、今後も付き合っていく必要があるのかなということで認識をしております。今弊社のほうとしては、常駐スタッフによるコンクリート補修というのを進めております。そうすることによって、常に状態を把握しながらというところで、スタッフのほうでも状況を把握していくということがまず1点。それから、大きなクラックについては、</p>

施設職員	<p>年に1回水を抜く換水メンテナンス期間というのを設けてますので、そういった時に、我々だけではなくて、専門業者を入れて大きなクラックについては補修をしていただいて、診断をしていただいてということで対応しております。</p> <p>それから、ご質問があったのは、苔の部分についてということですが、昨年度コロナウイルスでかなり施設の提供が限定的なものになりましたので、その期間を使って、オリンピックもありますので、それに向けて、こういった形で苔を抑制できるのかということでテストを行いました。具体的には、大型のクリーナーを導入して取ってみたりとか、物理的に取るという作業を試みたりとか、色々した中ですが、その中で、薬剤ですね、除藻剤、藻を防ぐ薬剤があるんですけども、薬剤メーカーに問い合わせをして協力いただきながら、それを注入していきました。そうした結果、苔を取ることはできないんですけども、抑制はできたという結果を得られました。ですので、我々としては換水清掃が1月、2月にメンテナンスあったんですけども、そこから終えて水を張って、除藻剤で管理をしているんですけども、まず苔を生やさないことが肝要なんだなという認識のうえ、除藻剤でコントロールをして、昨年と比べてもうかなりきれいな状態で、ほとんど目立つ苔はない状態で管理できている、そういった状況でございます。以上です。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。他に、評価シートのところで見ますと、例えば丸山先生とか澤井先生とか何かお聞きになりたいとかがあってというのは少し書かれているんですけど、いかがでしょうか。</p>
澤井委員	<p>じゃあ僕からですけど、団体稼働率のところ、前年比で随分下がってたりとか、あとですね、自主事業のところの参加者数が、事業数が一緒なんだけど、だいぶ下がってしまっていると、これ何か理由があるんでしょうか。</p> <p>オリパラの準備に入っているということもあると思いますけれども。</p>
施設職員	<p>はい。ありがとうございます。こちらのほうも私のほうからお答えさせていただきたいと思います。</p> <p>団体稼働率の前年比、令和1年度比が下がっているというご指摘の点に関しましては、令和1年度に関しましては、7月から開業しまして、最初に都民利用で1か月間貸し切らせていただきました。自主事業という形で貸し切らせていただいて、その後は、ほぼオリンピックに関連する準備作業ということで、組織委員会さんのほうで、施設を貸し切ったということで、施設稼働率、団体稼働率は100%という形になってございます。昨年度につきましては、コロナウイルスの影響がありましたので、一部そういった作業も停止したりとかあった中で、我々の自主事業として都民利用の日を作らせていただいて、そのために予約をさせていただいたり、一部コロナ対策を取りながらということで、競技団体の利用が一部あったりということで、そういった限定的な利用になったということで、稼働率は下がったというような形になっています。それからあと1点が。</p>

澤井委員	自主事業のあれですかね。
施設職員	ありがとうございます。すみません。自主事業のほうは、同様の理由になるんですけれども、やはり、今回昨年度の状況、コロナウイルスの蔓延している中で状況でしたので、対策を取ったというところが、もう率直な理由です。ラフティングにしましても、ボート数を減らしたり、実施回数につきましても、間、前のお客様が出たあとに、入れ替え清掃として消毒清掃をしたりとか、そういった形で実施回数自体も少なくなっておりますので、結果として参加者人数が減ったと、そういった形になってございます。以上です。
澤井委員	じゃあこの事業数っていうのは、何なんですかね、何日ってということですか。それとも何事業。ラフティングは何とかっていう事業の数ってことですかね。
施設職員	そうですね、事業の種類ということで、はい。
澤井委員	分かりました。ありがとうございました。
柏原部長	他にご質問等ございますでしょうか。
守泉委員長	丸山先生大丈夫ですか。
丸山委員	ちょっと、1点だけ。一般都民向けに、色々情報発信されていると思うんですけれども、その方法と、その効果みたいなものっていうのは、あるんでしょうか。そこ1点だけ。
施設職員	<p>はい。ご質問ありがとうございます。協栄のサトウと申します。都民向けの情報発信の方法と効果について説明させていただきます。現在情報発信の、自社で持っているツールは、施設の Web サイトのみです。それを使い、昨年度の都民利用期間の予約を受け付けました。自主事業の予約充足率は 93%、スポーツ振興事業の予約充足率は 100%でした。これに対して当日の参加実績は欠席された方がいたので少し下がってしまうんですけれども、予約の時点ではかなり高い割合で、情報発信ができていたんじゃないかという風に考えております。</p> <p>自主事業の予約に関しては、施設の Web サイトだけではなく、あわせて、アウトドアアクティビティを専門に取り扱っている外部の予約サイトを使用して、予約を受け付けました。具体的に言うと、アソビューとか外遊びというようなサイトになるんですけれども、これを使った効果をご報告しますと、この外部の予約サイトを使った理由というのは、施設の HP にアクセス、これまで到達していなかった一般の方向けの情報発信という意味で、新規のお客様を取るためにということで、外部の予約サイトを使用したんですけれども、こちらから予約していただいた方が全体の予約の大体半分でした。なので新規のお客様、半分しか取れなかったというのが1点、課題に感じています。残りの半分は、施設の知り合いですとか、これまでカヌーをやっている方に、直接お声がけをしたりして、募集したというような経緯があったので、今後の我々の課題としては、新規の顧客をいかに集めていくかっていうのを課題に感じていますので、今後は HP のリニューアルをオンラインでの集客を念頭に置いた Web サイトのリニューアルですとか、あとは SNS の運用開始などを推し進めて一般の都民の方に広く情報発信できるような体制を整えていきたいと考えております。以上です。</p>

丸山委員	はい。ありがとうございました。
柏原部長	ありがとうございます。他に委員の皆様からのご質問等ありますでしょうか。
守泉委員長	ありがとうございます。丸山先生にちょっと追加してなんですけども、この施設のところが、確かに臨海公園の駅のところからちょっと場所が分かりづらいという話があるんですけど、それに対して何か対策をされているのかということと、あと夏場の時に、処理場が近いので、臭気が以前から出ているとかってことだったんですけど、今その辺の対策はどんな感じになっているのかというところを、簡単にだけご説明いただければと思いますけれど。
施設職員	<p>はい。私のほうからお答えしたいと思います。駅からのアクセスがちょっと遠いよというところで、我々もそのように認識しております。オリンピックの後には、公園からの接道ができて、しっかりした看板で公園内にもご案内をしてということで、良くなっていくということで我々認識をしております。現時点では、ご指摘のように一度駅の側道側に出て、ぐるっと回ってもらうような動線を通っていただいているんですけども、公園さんのほうにご協力いただきながら、公園内にちょっと一部看板を臨時的に付けさせていただいて、こっちを抜けるとカヌー・スラロームセンターですよ、というところで、ご案内をしたりとか、令和2年度に関しては、限定的な利用になりましたので、お客様個々に、参加される方には、地図等でこういう風に入ってくるんですということで、ご案内をさせていただいた次第でございます。一昨年については、ちなみに限定的な利用ではなかったもので、我々の事業については、当初は、本当に駅までお迎えにあがって、一緒に歩きながらご案内したりとか、そういった取組もしてまいりましたが、昨年度については限定的な利用になりましたので、今お話ししたようなご案内をさせていただきました。</p> <p>臭気の問題につきましては、確か昨年度もご指摘いただいて、我々その後確認させていただきました。確かに風向きによって、隣が下水道局さんということで、臭いが入ってくることはあります。我々色々検討したんですけども、やっぱり物理的に何かそれを阻止するっていうのは難しいのかなという風に認識をしております。ですので、我々の方針としては、お客様には素直にお話をしたいと思います。隣が下水道施設で、こういったところで処理をされているんだというところを含めて、そういったご案内、ご理解をいただきながら、利用していただく、そういったことが一番なんじゃないかなという風に、認識をしております。以上です。</p>
守泉委員長	ありがとうございました。
柏原部長	<p>はい。他に委員の皆様からご質問・ご意見等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、ご質問以上とさせていただきますと思います。</p>

二次評価の審議【カヌー・スラロームセンター】

発言者	内容
柏原部長	それでは、審議につきまして、守泉委員長よろしくお願いいたします。
守泉委員長	はい。では続きまして、カヌー・スラロームセンターの二次評価案につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。
武田課長	はい。説明させていただきます。二次評価ですけれども、4名の先生のうち3名の先生からですね、Bという評価をいただいております。管理状況に関しては、管理が困難な施設の初年度ではあったが、マニュアルに従って無難に対応されたといったところが評価されています。また、事業効果の面ではですね、制約のある中で、各事業において一定の利用者を確保しているといった点が評価いただいております。それからコロナ禍の中、感染防止対策を取りながら、安全な施設利用が行われているといった点が挙げられています。それからAと評価された方が1名ということです。ポイントとしてはですね、積極的な自主事業で施設の認知度とスタッフ対応の習熟度を高めているほか、葛西臨海公園をはじめとする周辺施設との連絡会に参加するなど、ステークホルダーとの連携を図ろうとしているといった点が挙げられております。説明は以上になります。
守泉委員長	ありがとうございました。ではカヌー・スラロームセンターの評価につきまして、ちょっと時間が押していますので5分取れるかどうか何とも言えないんですけども、調整させていただきます。委員の皆様ご審議のほどよろしく申し上げます。
澤井委員	ここって前回Aでしたよね。
武田課長	前回Bですね。
澤井委員	Bでしたっけ。
武田課長	最終的にBにさせていただいています。
澤井委員	最終的にBになったんでしたっけね。まあ理由は同じなんですけど、運用の点ではかなり良くやっているんじゃないかなと思いますね。非常にこう、競技団体とか地域の方々にヒアリングしたりとか、しかもそういった方々と協働に向けた取組をされていて、けっこうかなりしっかりやっているなという印象があって、僕はAにして、だからまあ、落とし所としてさっき最初に聞いたように現時点の評価としては、まあBにしておくっていうのもしょうがないのかなと思ってますけれども、一応こういう評価もあって良いんじゃないかなと言いますか、僕としては非常に運用の点で評価できるなと。今さっきの応対を見ている、かなりその情報発信の点でですね、すごく考えていらっしゃるなという印象ですし、下水処理場のところで正直に話すっていう話、非常に良い対応と言いますか、良い姿勢を持ってされているんだなあと思いました。で、まあそれでAにしています。
守泉委員長	ありがとうございます。他に皆さん何かご意見とかございますでしょうか。

小海委員	<p>私も澤井先生と同じような意見が強いんですけど、さっきまあちょっと時間無くて聞けなかった部分があるんですが、たぶんこの施設はすごい特殊なのに、すごい頑張ってるなという感じがあって、HP 見ても、他の施設の HP 見ても、とりあえずオリンピック終わってからかなみたいな雰囲気が見えるんですけど、このカヌー・スラロームだけは、今からすごく頑張っている中身が見えてるんで、評価としたらAになってもおかしくないかなっていう、トータルしたら、とは思っています。</p> <p>あと、先程のこの施設は7月の終わりから使われて、12月の終わりまでで144日間、競技団体が使ってるっていう。これってほぼ毎日じゃないって思った時に、まあどんな使い方でも、あの施設で競技する人が練習で行ってるんだと思うんですけど、思ったよりすごく稼働してて、利用者が少ないとお金は入ってこないかもしれないんですけど、すごく頑張ってるなっていうのは見えたので、いい評価を付けてもいいかなとは思いました。以上です。</p>
柏原部長	<p>少し補足させていただきますと、この施設、カヌー・スラロームという競技はですね、ナショナルトレーニングセンターが他にないので、こういう人工コースという、非常に恵まれた環境を持っているのはここしか無いということで、競技団体の方は非常に熱心にここの施設を利用されるということがございます。他の施設がそういう意味で競技団体のほうの練習利用があまりないという部分が、もしここと比べてあったとした場合には、他の施設と条件が違うという部分も一応お含み置きいただいでですね、ご評価をいただければという風に思います。すみません、1点事務局のほうから補足をさせていただきました。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>多数決で言いますと、総合評価はBという形にはなるんですけども、先程の澤井先生のご意見、小海先生のご意見がありましたように、ある面では例えばあの、競技団体からのニーズは結構あるのかもしれないですけども、施設っていう面を考えた時に、もちろんこの運営団体さんのほうが、当初から、今後一歩間違えると廃墟のようになってしまうという恐怖感というのを非常にお持ちなんだと思うんですね。そういう面とそれから、初期の不良に対しての色んな困難性の部分、外的要因として臭気の問題があると。さらにオリンピックを開く場合でも、ここの施設というのが、かなり競技者が密の状態になる領域がけっこうありますので、それとの関連で、コロナのリスクというのも非常に気を付けなければいけないということで、外的な面としては非常に苦労される部分があるのかなという風に思われるんですね。</p>
守泉委員長	<p>その辺をふまえて、評価はBという形にしたとしても、そこの部分の努力の部分とかを、何らかの形で記載をすることではいかがでしょうかね。澤井先生何かご意見があればどうぞ。</p>
澤井委員	<p>そのような感じでよろしいかと思えますね。あのまあ、しっかり評価はしてあげたいなという風には思います。</p>
守泉委員長	<p>小海先生も何かございますか。</p>

小海委員	大丈夫です。はい、そのままでもいいと思います。
守泉委員長	ありがとうございます。では結論としましては、Bという形ですけれども、なるべくその施設関連の努力の部分に関して、文言の中で評価をするという形でさせていただきたいと思います。では事務局のほう、よろしく願いいたします。
柏原部長	はい。ありがとうございました。

指定管理者によるプレゼン、質疑【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】

指定管理者：アメニス海上南部地区グループ

発言者	内容
事務局	<p>続きまして、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の指定管理者によるプレゼンテーション・質疑及び財務を除く二次評価の審議を行いたいと思います。では、ホッケー競技場の指定管理者の皆さんの入室をお願いいたします。</p> <p>では、指定管理者によるプレゼンテーションを始めます。プレゼンテーションの時間は 10 分間、時間厳守をお願いいたします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を 5 分程取っておりますのでよろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては残り 3 分のところでベルを一度鳴らします。また、10 分経ちましたらベルを二度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それでは資料の表示及びプレゼンテーションのほう、よろしくお願いいたします。</p>
施設職員	<p>それでは、始めたいと思います。大井ホッケー競技場における令和 2 年度の管理運営状況についてご説明いたします。私、アメニス海上南部グループ代表企業日比谷アメニスのヤマナカと申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>最初に施設の管理状況についてご説明いたします。設備の定期点検や日常点検、通常の清掃業務に関しては、維持管理業務等仕様書に従い、確実に実行しております。令和 2 年度は非常用発電機の点検時に、本来流入しないはずの水が発電機内に入っており、稼働できない状態となっていることが判明いたしました。</p> <p>速やかに都へ報告を行い、建築設計、発電機メーカー、施工業者など、関係者全員で状況を確認し、原因の可能性について検討を行いました。根本的な復旧対応、稼働できる状態にしてからは、日々の雨水流入状況を記録することにより、構造的な問題であることが分かり、根本的な原因究明に貢献しております。それ以外にも当施設は雨に弱い施設でして、令和元年度の台風の際は床上浸水が発生しておりました</p> <p>令和 2 年度は都による耐水工事が行われたほか、豪雨が予測された際には土のうを設置したり、排水口に落ち葉が詰まらないように事前に対応したりと、排水が集中する箇所にポイントを絞って予防を行うことで大事に至らないよう改善されました。残る懸念箇所については、大会後に改修工事が行われる場所であるため、その際に排水にご配慮いただけるよう都へ要望を出しております。</p> <p>一方で、2020 大会工事において排水口の 1 つがマットでふさがっていたためにピッチ上の排水が雨量に追いつかなかったということがございましたが、組織委員会に申し出を行い、工事関係者に周知いただくことで、以後そのようなことはなくなっております。</p>

施設職員

そのほかにも、日頃、組織委員会の皆様とコミュニケーションを図っていたことから、大会の準備で来日されていた人工芝メーカーのご担当者様より直接人工芝のメンテナンス、スポーツトラクターの操作について指導を賜る機会を得ました。それまでの不明点などは取扱説明書を参照して解決を図ってはいたのですが、実際に使い慣れている方からちょっとしたコツや便利な機能など、より検討された指導を受けることにより、以降の作業効率が上がったように感じております。またその後、大会準備に際し、組織委員会さんへスポーツトラクターを貸し出すことになったのですが、その際には私どものスタッフが操作指導を行っております。警備状況につきましては、駐車場の巡回、点検、施錠管理はもちろん、工事関係者の出入りが多いですので、鍵の管理は特に慎重に行いました。具体的には事前に申し出があること、責任者の氏名が確認できていること、鍵の受け取りには身元の確認ができることを満たした場合のみ、かつ必要な箇所のみ鍵を貸し出してしております。この条件を満たさない場合には職員が直接解錠・施錠の対応をしております。また、夕方の段階で鍵の返却状況を確認し、戻っていない場合には関係者へ連絡を行い、工事、作業の進捗確認と返却忘れ防止を図っております。

続いて、人員配置と人材育成についてですが、令和2年度の研修はオンラインを活用してシフト上、協力、参加が難しいスタッフが後日同じ質で受講ができるようにいたしました。スタッフからは雨天の時など勤務時間に受講ができると大変好評でした。また、これまでの接客・接遇や個人情報に関わる研修に加えて、令和2年度は通路における危険や台車利用時の注意、設備点検や植栽管理を行う上での安全管理についても盛り込んだ内容としております。

次に安全性の確保ですが、建物内のキャットウォークが危険な箇所として、一般の利用者の目につく通路ではないのですけれども、工事作業中に関係のない方が間違っ立ち入らないよう、扉に注意警告の掲示を行っております。また、防災への対処として年に2回、スタッフで火災訓練を行い、通報手順や非常用システム、消火ポンプの設備の配置や使い方などを確認し、有事の際に動けるように備えております。その他、利用者の安全対策として、災害発生を知らせるフラッシュライトの設置に関する説明をトイレ内の目につく場所へ掲示いたしました。

続きまして、施設の提供及び事業効果、自主事業の取組についてご説明いたします。令和2年度は2020大会が延期となり、工事が中断している期間に少しでもご利用いただける機会を設けました。仮設物などの安全対策を行ったうえでの利用ということで、サブピッチのみ8月22日から利用開始となり、翌年の工事が再開する直前、2月14日まで開放しておりました。大会及び大会準備に支障がない範囲の利用とするため、ホッケー競技限定、かつホッケー協会に所属する団体のみ利用としております。利用にあたってはコロナ禍でのガイドラインに沿った新しいルールを設定し、施設側として対処すべきこと、利用者を守っていただくことを整理し、日本ホッケー協会様、東京都ホッケー協会様と交流の機会を設けております。ホッケー限定の利用ではありましたが、高等学校ホッケー

施設職員	<p>大会、いわゆるインターハイ、関東学生リーグ、インカレ、社会人大会、ホッケージャパンリーグなど、主だった大会にご利用いただいたほか、都、区等の小規模な交流大会にご利用いただいております。ほとんどの大会が無観客のなか行われたのですが、ジャパンリーグの決勝戦に関しては、チームごとの上限人数を設定して、観客を入れての大会となりました。開催にあたっては大会運営以外に事前にコロナ対策について打合せを行い、入場者の特定・入場前の検温・手指消毒・マスクでの応援のほか、選手・観客・メディアなどで動線を分けたり、試合後、間隔を空け、大きく取って入れ替え時間を設けたり、といった対策を行っております。</p> <p>また、品川区教育委員会から、コロナ禍で遠足や修学旅行などほとんどイベントを行うことができなかつた小学6年生を対象にした「思いで作り事業」の1つにホッケー体験を加えたいというお話をいただきまして、東京都ホッケー協会さんへお話をつなぎ、講師をお願いする形で実現することができました。結果、計8校、513名の生徒さんに体験いただくことができ、品川区教育委員会さんからも「多大な協力を賜り、ありがとうございます。おかげさまで子供たちがとても楽しそうな顔をしておりました。」と感謝の言葉をいただいております。</p> <p>自主事業としてはホッケー競技の普及とオリンピック機運の醸成を図るため、ホッケー教室を開催しております。ホッケー初心者を対象とした回と、ホッケー経験者も楽しめるようにスキルアップ練習やミニゲームを行う回を用意し、今後ホッケーをしていきたい子供と、選手への憧れ、未来のオリンピック選手の育成といった、まさに夢みる機会を提供してまいりました。いずれの機会においても、また利用においても公園内が工事で通行不可となっている箇所が多かったため、サブピッチまでの案内図を随所に設置して、迷うことなく現地に到着できるようにいたしました。工事エリア内であるメインピッチの案内所ご利用の際には事前に工事関係者・組織委員会と動線について確認を行い、カラーコーンやドアを用いて安全な通路を確保した上でご利用いただきました。また、警察との連携やサイバーセキュリティ対策に関し、組織委員会と共有を図り、大会開催に向けた連携を深めております。駆け足ではございましたが、ご説明は以上となります。ありがとうございました。</p>
事務局	ありがとうございました。
柏原部長	はい。ありがとうございました。ただ今のプレゼンテーション及び施設運営等について、委員の皆様より、ご質問等よろしくお願いいいたします。何かございますでしょうか。
澤井委員	それでは、いいですか。よろしいでしょうか。
柏原部長	澤井先生お願いします。
澤井委員	大変精力的に事業をされているようで、お疲れさまでした。また非常に厳しい状況下ではありますが、自主事業のところの先程もお話ちょっとありましたけれども、ホッケー教室参加者が、前年より減っているのは、これコロナ対策で減らしたってことですね。

施設職員	そうですね、あとは、前年は、品川区と大田区との共催ということで、規模も非常に大きかったんですけど、今回は募集人数も少なめでしたし、1回はコロナの感染者数増ということで中止になりましたし、1回は途中で募集を打ち切ってしまう形を取らざるを得なかったというのがあります。
澤井委員	緊急事態宣言とかそういうことですね。
施設職員	そうですね、はい。
澤井委員	じゃあ回数も減らさざるを得なかったということですね。今回はね。
施設職員	そうですね、はい。
澤井委員	はい、分かりました。
柏原部長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
丸山委員	いいですか。
柏原部長	はい、お願いします。
丸山委員	施設の提供についての中で、ちょっと興味があったのは、コロナで修学旅行など、たぶん6年生だと思うんですけど、中止になった小学生を対象に、思いでづくり事業ってこれあの、ホッケー教室を行ったということなんでしょうか。何日くらい行ったんでしょうか。品川区の全小学校の6年生を対象にされたんでしょうかね。
施設職員	品川区の教育委員会様が企画されまして、ホッケー体験以外にも、例えば屋形船に乗ってオリンピック施設を回るとか、そういういくつかのコースが設定されていて、その中からクラスごとに選んで参加いただくような形だったんですね。
丸山委員	なるほど。
施設職員	はい。そういった中で、8つの小学校が参加いただいているという形になります。
丸山委員	なるほど。そこは、ホッケー教室をされたということなんですね、8校。そうですか。
施設職員	写真の真ん中のところですね。他のところは、ユニホームとか着てるんですけど、ここだけ、学校の遠足の流れで、はい。
丸山委員	そうですね。喜んだと思います。ありがとうございます。
施設職員	ありがとうございます。
柏原部長	他に委員の皆様からご質問等ありますでしょうか。
守泉委員長	小海先生もご質問入れているんですけども、付帯施設に対してのアンケートの評価が低いというのは、アンケート自体が、件数が少ないので、要因にはなるんですけども、そのあたりはどのようなものが原因だとお考えなんでしょうか。
施設職員	件数が少ないというのもそうなんですが、開催者の中には、ホッケー協会の大会運営するスタッフさんが含まれていて、大会に来た利用者の方と、大会を運営する側のスタッフというのが含まれていまして、こちらにも実際にホッケー協会さんの運営側の方のご意見として、例えば大型ビジョンが欲しいとか、電光掲示板が欲しいとか、専用倉庫が欲しいといった要求レベルが高かったというのが原因と考えております。あとまだ、工事の途中でしたので、Wi-Fi 設備とかもまだ、

施設職員	できていませんでしたので、Wi-Fi の利用ができないというのも、不満というか要望として回答されております。
守泉委員長	ありがとうございます。
柏原部長	よろしいでしょうか。小海先生、よろしいですか。
小海委員	すみません、はい、1点。どこかに書いてあると思うんですけど、利用者ニーズの把握みたいな形で、ホッケー関係以外の品川区とか学校関係者等と意見交換をして、ホッケー場利用の可能性について意見交換を実施したみたいなことがあると思うんですが、その結果どんな感じで利用の可能性が広がったのかお聞きしたいと思います。
施設職員	令和2年度においては利用再開の時に、ホッケー限定ということで、そのことについて打合せをしたということで、ホッケー以外の利用については、別の機会ではアリングということで東京都で行っている懇談会の中の一環でアリングに参加させていただいたりという形で。
小海委員	では、現時点ではまだホッケーだけということですね。
施設職員	オリンピックが終わるまでは、環境を維持するという目的がありましたので、ホッケーのみの利用になっております。
小海委員	分かりました。ありがとうございます。
柏原部長	ありがとうございます。よろしゅうございますでしょうか。
澤井委員	ちょっと今のに被せて申し訳ないんですけども、現時点ではホッケーのみの利用ですけども、オリンピック終わってからは、アメフトやサッカーやラグロスとかっていう利用のための、連絡というか、話し合いみたいなのは持たれているのでしょうか、各競技団体で。
施設職員	そうですね。人工芝の性質で、アメフトにはあまり適さないんじゃないかということが言われていまして、あと、ラインとかも今ホッケーのものしか無いので、どういう形でのラインが良いのかというのは、ご意見は何っています。それに向けて、私どもでも、ラインの種類ですとか、後で結局、ホッケーの大会とかあった時に消したりしなければいけないので、そういったラインの検証というものは相談しております。
澤井委員	はい、分かりました。
柏原部長	ありがとうございます。よろしゅうございますでしょうか、委員の皆様。それでは、以上ということにいたしまして、審議に移りたいと思います。 大井ふ頭ホッケー競技場の皆さん、ありがとうございました。ご退出をお願いします。お疲れさまでした。

二次評価の審議【大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場】

発言者	内容
柏原部長	<p>それでは、審議をお願いしたいと思います。 委員長よろしくをお願いします。</p>
守泉委員長	<p>続きまして、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の二次評価案につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
武田課長	<p>説明させていただきます。二次評価ですけども、先生方4名全員が、Bと評価いただいております。管理状況の面では、専任担当が少ない中施設を理解しているスタッフを中心に常駐できるようシフトを組んでいる点。それから、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、ほぼ評価水準通りに適正な管理を行っている点。それから、施設利用状況をHPで公開しているといった点が評価をされています。</p> <p>また、今後取組むべき点といたしましては、ステークホルダー特にホッケー以外の競技団体との連携、事業・イベントの開発・誘致にも取組むべきという点が挙げられています。以上になります。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。それでは、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場の評価につきまして、数分程度で調整させていただきます。委員の皆様、ご審議のほどよろしくをお願いいたします。まず評価に対しては、総合評価皆さん一致しているということなので、それ以外のご意見として、いくつかお聞かせいただければと思います。よろしくをお願いいたします。いかがですか。</p> <p>施設としては、現在なかなか利用ができないような、部分というのはあるんですけども、そういう状況の中で、将来をふまえた時に、澤井先生等もお話があるように、ホッケー以外の部分として、どうできるのかとか、それから、各種団体との協議、特にホッケーが強いところというのは関西が多いところがありますので、関西との調整をどうするのか、今頑張らなければいけない部分って結構あるのかなと思うんですよね。それ以外とともに、ホッケー以外として、何ができるんだらう、意外とこんなものはどうだということは、あるかと思うんですけども、その辺は何かご意見とかございますでしょうか。</p>
澤井委員	<p>まさに今、守泉先生におっしゃっていただいた通りだと思うんですけども、全体的にそうですけどね、オリンピックがあるので、色々制限があってそれまでできないというのは仕方がないとして、その後をふまえた活動がどこまでできているかという点がやっぱり、皆さんの状況を拝見していてすごく気になったところではあります。</p>

澤井委員	<p>さっき、アメフトはできないっていうようなことをおっしゃっていたけども、それは僕は想定内だったんですけども、大学とか社会人のトップリーグは無理ですけども、ある程度のレベルまでであれば、全くできない、やらないということではないのかなと思ったりもしますし、何とかオリパラ後の利用の拡大のためにもうちょっと色々ところ、ラインの引き方とかっていうだけではなくて、どういうニーズがあるのか、可能性があるのかっていうのは考えてほしいなという風には思いました。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか。</p> <p>ご異議がないようですので、評価のほうを、B評価という風にさせていただきたいと思います。</p> <p>進行を事務局にお戻しさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
柏原部長	<p>ありがとうございます。</p>

指定管理者によるプレゼン、質疑【東京アクアティクスセンター】

指定管理者：事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

発言者	内容
事務局	<p>それでは最後、東京アクアティクスセンターの指定管理者によりますプレゼンテーション、質疑及び財務状況を除く二次評価の審議を行いたいと思います。</p> <p>アクアティクスセンターの皆さんお待たせいたしました。では、ご入室をお願いいたします。</p> <p>それでは、アクアティクスセンター指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンテーションの時間は10分間、時間厳守でお願いします。プレゼンテーションの後に質疑の時間を5分程とっておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>プレゼンにつきましては残り3分のところでベルを1度鳴らします。</p> <p>また、10分経ちましたらベルを2度鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それでは資料の表示及びプレゼンテーションのほうをよろしくお願いたします。</p>
施設職員	<p>恐れ入ります。指定管理者維持管理担当のオーエンスのスギヤマでございます。申し訳ございません。ただ今アクアティクスセンター現地の機器のトラブルでちょっと事業団さんの対応が遅れております。申し訳ありません。もう少々お待ちくださいませ。</p>
館長	<p>すみません。ちょっと不具合がございまして。それでは私、東京アクアティクスセンターの館長のカクタと申します。どうぞよろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>お願いします。</p>
館長	<p>それでは資料に沿ってご説明申し上げます。まず、施設設備の保守点検でございますが、当施設は令和2年3月に施設の引き渡しを受けて間もない施設になっております。そのため各施設設備等の点検にあたっては、不具合箇所の早期発見に努めるとともに、東京都への報告・連絡体制を整え、適切に対応してまいりました。</p> <p>続いてプール施設の管理についてでございます。プールの水質については、中央監視システムにより、随時、水温、遊離残留塩素濃度、薬品残量を管理しております。そのうち、水温と遊離残留塩素濃度については実測も加えダブルチェックを行い、より正確で適切な水質保持に努めております。また、ろ過装置等の水質管理機器の正常運転を維持するとともに24時間運転による水質浄化や先程申し上げました水質チェックによる水質保持の徹底により、プール底が明瞭に見えるほどの透明度を保ち、衛生的なプール環境の維持に努めております。</p> <p>続きまして、施設の警備についてご説明申し上げます。</p> <p>東京2020大会の開催に向けて、オーバーレイ工事が実施されております。今現在も安全確保のため、施設外周に全て仮囲いが設置されておまして、管理</p>

館長	<p>者以外は事前連絡なしに敷地内に入ることができない状況となっております。</p> <p>そのため、工事関係者やスタッフ等で入退館する場合には、常時配置している警備員が入退場ゲートで氏名、車両番号等チェックし、適切な入退館管理を行いました。あわせて新型コロナウイルス感染症対策としての消毒、それから検温などの確認も適切に行いました。</p> <p>警備業務にあたっては、毎日4名以上の体制を確保いたしまして、定位置警備、巡回警備及び監視カメラによる警備を組み合わせ、不審者等のチェックや事故の未然防止に努めるなど、施設の防犯、防災にも万全を期しております。次に施設の提供についてご説明申し上げます。東京 2020 大会組織委員会のオーバーレイ工事や視察等が円滑に実施されるよう、作業スケジュールの日程調整や工事内容の確認及び入退館情報等共有するため、東京都組織委員会、それから工事業者、指定管理者による連絡会議を定期的で開催し、円滑かつ適切な管理運営に努めました。また、東京 2020 大会の延期を受けてオーバーレイ工事で館内及び敷地内に設置されたコンテナ、客席のメディアブース、通路等のケーブルなど、多数の残置物を適切に保存するとともに、利用可能エリアの区画整理など行うなど、東京 2020 大会の前利用が安全に実施できるよう、施設環境を整えております。</p> <p>東京 2020 大会の前利用といたしましては、令和 2 年 12 月に日本選手権水泳競技大会、令和 3 年 2 月にはジャパンオープンの大会を開催いたしました。開催にあたりましては、主催者側と綿密な連絡体制を取り、円滑に大会運営を行えるよう全面的に協力いたしました。</p> <p>次に安全性の確保のうち、防災への配慮・緊急時対策についてご説明申し上げます。利用者の皆様に安全かつ安心して施設をご利用いただくために防災への配慮として、消防設備点検及び自衛消防訓練をそれぞれ2回実施いたしました。消防設備点検では東京 2020 大会の仮設部分についても併せて実施し、館全体としての防災の徹底を図りました。また、自衛消防訓練では、所轄消防署の立ち会いのもと、消火栓の使用方法や感染症対策をふまえた心肺蘇生方法について学び、災害時の対応について準備を整えました。また、館内6箇所に AED を設置し、緊急時には館内スタッフが速やかに機械操作をできるようにしております。さらに、大規模災害の発生時において帰宅困難者対策の一貫として、令和 3 年 3 月に東京都と一時滞在施設の協定を締結し、館内に特設公衆電話を設置するとともに、東京都防災対策本部との連絡用として無線機を設置いたしました。また、運営計画を策定し、実際の災害時に備えて一時対策施設として適切に運営できるよう準備を整えました。</p> <p>続きまして利用状況のうち、個人利用状況及び団体利用状況についてご説明申し上げます。個人利用については、令和 2 年に竣工した当館を PR するとともに都民への利用の機会を提供するため、東京都と実施内容、日程、感染症対策等を十分に調整し、都民による初のプール利用となる施設体験会を開催いたしました。この施設体験会は近隣の類似施設となる東京辰巳国際水泳場が大会等で個人利用ができない日に実施いたしまして、プール利用と施設見学を体験できるよう</p>
----	---

館長	<p>工夫し、多くの都民の方々に参加いただきました。</p> <p>また、団体利用については日本選手権水泳大会等2つの大会を実施したほか、オリンピック代表候補選手等の練習についても、可能な限りの機会を提供し、それぞれの利用に関しては主催者と連携して感染症対策の徹底を図り実施いたしました。</p> <p>次に事業の取組についてご説明申し上げます。はじめに自主事業の実施状況ですが、2020年の大会の延期を受けまして、大会前利用として東京都と実施内容の日程、感染症対策等を十分に調整し、事業を計画いたしました。</p> <p>当施設は東京2020大会水泳会場として新たに整備された施設ですが、これを広くPRするために施設見学会を計8回円滑に実施いたしました。</p> <p>その他として、新型コロナウイルスへの対応についてご説明申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策に関しては、「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染症拡大防止ガイドライン」をふまえ、当館を利用する際の感染症拡大防止チェックリスト等を作成いたしました。事前に利用者に対して周知し、感染症拡大防止対策を徹底するよう取組を行いました。特に大会等の団体利用の際には、主催者が行う感染拡大防止に向けた具体的な対応を事前に確認するなど、感染拡大防止の徹底に努めました。</p> <p>また、オーバーレイ工事等での入館、当館主催の施設体験会や施設見学会においても、利用者に対し遵守事項を周知し、入館時の検温や体調管理の確認を行うなど感染拡大防止の徹底に適切に取組みました。</p> <p>最後に、我々東京アクアティクスセンターの指定管理者の各団体では共通して仕事と生活の調和、すなわちワークライフバランスを尊重し、スタッフ一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら仕事上の責任を果たすとともに、子育て期、中高年期といった各ステージに応じて多様な生活が実現できる職場環境を実現すべく全力で取組んでおります。以上です。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは委員の皆様よりご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。</p>
柏原部長	<p>ありがとうございます。それでは、委員の皆様より、ご質問等ございましたらよろしく願いいたします。小海先生どうぞ。</p>
小海委員	<p>2点あるんですけど、事業効果の個人利用に関して、施設体験会という形で、8日間、1,701人実施されたということなんですが、利用者アンケートがその時に取られた形ということによろしいですかね。アンケートの報告の中で、回答数1,053件のうち自由記述の件数を集計と書いてあるんですけど、いくつかこの2つに関して報告あるんですけど、その他っていうのがいくつか、中身が見えないところがあるので、できればその他に関して少し教えていただくと良いかなと思いました。</p>

小海委員	もう1点は、今後の取組むべき点みたいな形で、これはこちらからの要望なんですかね、すみません、よく分かってないんですけど、水泳以外も含めた事業展開みたいな項目があったりするんですが、その辺はどうお考えなのかなということをお聞かせいただければと思います。以上2点です。
施設職員	<p>アクアティクスセンター副館長のマスナガと申します。2点回答をさせていただきます。</p> <p>まず1点目ですが、個人利用のアンケートについて、その他でどんなものがあったのかというご質問だと思います。例えば、シャワー室の荷物置きがちょっと高いと、使いづらいですとか、例えばメインプールの時計がちょっと見づらいですといったようなマイナスなご意見いただいておりますが、逆に我々施設側としましては、こういった少数意見ではありますけれども、こういったご指摘は、今後の施設運営に一番参考になると考えておまして、今後、きちんと対応していきたいという風に考えております。これが1点目でございます。</p> <p>それから2点目の、水泳以外の何かプログラムを考えているかということについてですが、私どもの施設の中には、現在は使われておりませんが、スタジオやトレーニングルームといった施設が予定されております。ですので、今後開館し、オープンしてからになります、例えば子供さん向けの体操教室であるとか、女性または高齢者等の方の健康のための教室など、そういった事で活用を考えているところでございます。以上です。</p>
小海委員	ありがとうございました。
柏原部長	よろしいでしょうか。他に、委員の皆様からのご意見、ご質問ございますでしょうか。
丸山委員	今のご質問に付け加えさせていただきたいんですが、水泳以外の生涯スポーツプログラムというのは何か考えていらっしゃいますか。
施設職員	はい。アクアのマスナガでございます。そうですね、まだこれからですので、色々なプランは考えているところではあるのですが、例えば、その時々ポイントだけではなくて、長く使っていただけるようなプログラムも含めていきたいと考えております。
丸山委員	そうですか、これから考えていくということなんですね。
施設職員	実は案は少しありまして、例えば、歩行のトレーニング教室であるとか、ダンス教室とかですね、今非常に人気のヨガやアクアビクスなども取り入れていきたいという風に考えております。以上です。
丸山委員	分かりました、ありがとうございました。
柏原部長	<p>ありがとうございます。他に委員の先生方からのご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それではですね、質問等以上とさせていただきます、審議に入りたいと思います。</p> <p>東京アクアティクスセンターの皆様、どうもありがとうございました。ご退出よろしく申し上げます。お疲れさまでした。</p>

二次評価の審議【東京アクアティクスセンター】

発言者	内容
柏原部長	それでは、審議につきまして委員長よろしく申し上げます。
守泉委員長	東京アクアティクスセンターの二次評価案につきまして、まず事務局よりご説明をお願いいたします。
武田課長	<p>説明させていただきます。二次評価の結果ですけれども、4名全員の先生方がBと評価されております。管理状況につきましては、完成披露式典、施設体験会、競技を経て、利用中止に至るなど、外的要因による非定型的対応が必要であったが無難に対応されたといった点が評価をされています。</p> <p>また、事業効果については、2大会の受入れ、施設見学会の実施、大会放映準備等、2020大会へ向けてのできる限りの準備が進められているといった点が評価として挙がっております。</p> <p>それから、今後の改善点というところでは、今回のパンデミックだけでなく、地震等も想定したPCPの策定が必要だといった点や、キャッシュレス対応、DX等に対応した情報セキュリティ対策が必要だという点が挙げられております。</p> <p>また、観戦型のスポーツ施設として快適な観戦環境の提供に取り組むべきといった点もご指摘いただいている点でございます。説明は以上でございます。</p>
守泉委員長	ありがとうございます。それでは、東京アクアティクスセンターの評価につきまして、調整させていただきますが、先程からお話がありましたように、総合評価に関しては、Bということで統一的な形ですので結果としてはよろしいのかと思いますが、それ以外のご意見、こういうことを付け加えていただきたいとか何かございましたら、よろしく願いいたします。
小海委員	アクアティクスセンターだけじゃなくて、個人利用という話で質問をさっきさせていただいたんですけど、確認ですが、いただいた全体の資料見ますと、個人利用の数っていうのは出てないと思うんですけど、基本的にこれ個人利用はないっていう形なんですか。みんな体験会みたいな形なので、今回の個人利用っていうものはなくて、団体で、競技団体とかが使ったみたいな、その辺で見るということでよろしいですかね。
武田課長	そうですね、個人の方が来ていただいてフリーに泳ぐという形ではなくて、指定管理者のプログラムの一環として、自主事業という形なんですけれども、この枠組みで持って参加者を募って、使っていただくということでやっております。位置づけとしては個人利用ということではなくて、指定管理者の主催する事業ということで整理させていただいております。
小海委員	分かりました。ありがとうございました。

守泉委員	<p>ありがとうございます。丸山先生のご意見のところ、先程もあったように生涯スポーツプログラムというのは、ご質問でもありましたけれども、中国の状況で、高齢者に太極拳をやることによって、コロナの重症化が防げているんだというようなお話とかが出てきているんですけど、そういう生涯スポーツといった時に、何か高齢者に対してそういうものも含めて、何か知見がございましたらよろしくをお願いします。</p>
丸山委員	<p>高齢者についてなんですが、私は 20 年間、高齢者対象に介護予防の集いというのをやってきました。女性はとにかく楽しければオッケーなんですけど、男性の高齢者、昔の肩書が結構偉い人がいるんですけども、やっぱり、こういう風になると、体のためにこういう風に良くなるよとか、健康になるよっていう理屈をお話すると、一生懸命高齢者やるんです。そういう点を考えたらいいのかなっていう風に思います。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。</p> <p>よろしいですか。他にご意見がないようですので、東京アクアティクスセンターの財務状況を除く二次評価に関しては、当初の総合評価Bとさせていただきますと思います。</p>

全体整理

発言者	内容
守泉委員長	<p>ここまでのところで、今日予定されていましたが、すべての施設について財務状況を除く二次評価の審議に関しては、終了しているんですが、全体的なところで、小海先生のほうが、全体の部分ということで、一部書かれている点とかございますので、何か全体面としてお話があればと思うんですけど、よろしく願います。</p>
小海委員	<p>すべての施設の大会後の見通しみたいなのが、それがちょっと見えなかったもので、ただ何となく見えてきたので、オリンピック終わってしばらくまた改修等があって、4年度ですか、来年度にはちゃんと使える、そんな感じなのかなというのが大体見えました。</p> <p>あとは、利用状況の報告が、ちょっと読み取りにくかったので、さっき個人利用も分からなかったんですけど、団体稼働率っていう資料が、100%というのが、何が100%なのかというのも分からなかったもので、その辺がちょっと見えにくいなと思いました。</p> <p>もう1個挙げてあったのが、利用者アンケートの項目の統一と集計みたいなのが、これ澤井先生が言われていたのと同じことです。色んなところで違う物が出ていたと思うのでということでした。</p> <p>あと全然違うんですけど、実際オリンピックが開催の方向に動いているので、施設の管理の方達が、ワクチン接種とか大丈夫なんですかというののがすごく個人的には気になっている点です。以上です。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございました。澤井先生何かございますか。</p>
澤井委員	<p>今の小海先生に概ね同意でして、僕のほうからも、一つ目は利用者アンケートをされているんですが、先程のどこでしたっけ、アクアティクスじゃなくてホッケー場か、評価厳しいなと思ったら要は競技関係者の運営されている方だったという話がありましたけど、対象者とかですね、それからもちろん調査方法ですね、調査項目、これ少なくともまず明記してもらいたいですね。評価シートとかにね、誰に聞いたのかとかどうやってやったのかと。それはできるだけ事前に全施設共通で統一してもらったほうが本当は良いはずなので、これも前回もお話ししましたけれども、ちょっとそういう方向でしっかりやってほしいというのが1点。</p> <p>HP・SNSなどの情報発信について、やっぱりこれはできれば項目があって明記してもらいたいなという風に、どのように考えているのか、やっているのかというところですね。実際に聞いてみるとカヌスラの方々はかなりしっかりやろうとしている、やっている印象ですし、他は何かまだ、オリパラ前なので今はエクスキューズになっていますけども、実際にはですね、せっかくオリパラ、宣伝の機会なので、今から準備しておいて、オリパラの時にば一っと広めて、その後の利用に繋げる、認知度に繋げるっていう戦略を本当は取るはずなんですが、</p>

澤井委員	<p>やられているのかどうか、ということですね。そこら辺もしっかりできれば何か項目があったほうがいいんじゃないかと思うんですけど。情報発信については。</p> <p>Wi-Fi の整備は東京都、指定管理者はそこには関知しないと、それは区別もしっかりしていただきたいなということと。</p> <p>先程小海先生もおっしゃっていましたが、何回も僕も質問しましたが、オリパラ後の利用について現段階でできることもいっぱいあるはずなので、そういう部分本当はですね、次はもうオリパラ後になるので、またちょっと変わってくるとは思いますけれども、準備ができていくかどうか、これはカヌスラのところはかなりやっているような印象はありましたが、ステークホルダーと競技団体との協議とかですね、今の段階でやるべきことをやっておかないといけないことはあるので、そこをしっかりとやっていただきたいなと。</p> <p>最後に、やっぱりちょっと全体的にずっと見ていると、このS・A・B・Cという評価は、あんまり指定管理者の運営を適切に動機付けているのかなとか、今ひとつ分かりづらいような気がします。どこをどう評価されているのかっていうのが。基本皆さん管理業務が中心のところは多い、もちろん大事なことで、施設運営についてはもちろん当然なんですけども、オリンピック・パラリンピックの施設なのでどうしてもプラスアルファを求められていくと思いますので、その部分をしっかりと適切に動機付けるような、インセンティブになるような評価項目とかですね、もうちょっと考えたほうがいいんじゃないかなというように、2回目ですけどお願いさせていただいた、強く感想を持っております。是非検討していただければと思います。以上です。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。丸山先生いかがでしょうか。</p>
丸山委員	<p>結構です。私も同じようなことを考えていました。やっぱり今ほとんかくオリパラを成功させるために、ということですので、その後どうするか、都民がどう使えるかということが、関心事ですので、今までのお話で結構でございます。</p>
守泉委員長	<p>ありがとうございます。私のほうから、最後に私の専門のシステム面で、いくつかお話があるんですけど、東京都さんを通しての要望になると思うんですけど、まず、HP の部分に関しては、HP が安全かどうかというのは独立行政法人のIPA のほうでガイドラインを出しております。まずガイドラインに沿って作っていますかというところが、先程のサイバーセキュリティ以前の問題として、前提条件になります。</p> <p>それから Twitter の問題に関しては、Twitter で発信するというのは非常に重要で効果はあるんですけども、それに対して、誰がどういうチェックを受けて発信をしているのかというのを、内部統制上でできていないと、トラブルになるケースがあるんですね。ですからその辺の仕組みがどうできているのかということ。</p> <p>それから月次とか日次くらいのアクションの効果というのが、数字で出ますので、その情報をどう捉えてどういう風に分析されているのかということ。</p> <p>のかという点があります。</p>

<p>守泉委員長</p>	<p>それから SNS につきましては、それに対しての色々な関連する苦情というのは逆に出るケースがありますので、その辺を捉えてどのように評価をされている</p> <p>それから、いくつかのところで会計システムとして、その施設ごとにやっているということが書かれていましたが、財務諸表を見る時に、会社全体の費用の部分と、指定管理の部分としての費用の部分とかが何らかの形でセグメントに分かれていると、実は非常に分かりやすいということになります。セグメントに分かれていないとしても、例えば、指定管理で受けたものを再委託した場合に、いくら位の金額をどういう風にやっているのかなという時に、単なる委託料だけではなくて、指定管理業務委託料という形で分けている業者さんもいらっしゃいます。その辺のところ、ご指導いただけるとより細かい形で財務分析ができますので、その辺も含めた形であればという風に思います。</p> <p>それ以外に何か皆さんございますでしょうか。よろしいですね。何か必要なことがあれば、再度評価案についての確認整理を行いたいと思いますので、その後も結構ですので、またよろしく願いいたします。ここまででご質問等はないようですので、この通りで審議は終了とさせていただきたいと思います。</p> <p>進行を事務局にお戻しさせていただきます。</p>
<p>柏原部長</p>	<p>守泉委員長どうもありがとうございました。以上で本日予定しておりました審議は終了でございます。委員の皆様方にはご多用のところ、また大変今回ですね、時間が超過いたしまして申し訳ございませんでした。本当にご出席ありがとうございました。</p> <p>このあと、今後の予定もご案内いたしますが、2回目もございますので、また引き続きよろしくお願いしたいと思います。では今後の予定について、事務局のほうからご説明いたします。</p>
<p>武田課長</p>	<p>本日進行がスムーズに進まないところがあり、失礼いたしました。</p> <p>今後の予定について、説明させていただきます。来週の6月29日に既存施設の評価、7月16日に財務状況について、それぞれご審議いただき、評価委員会による二次評価の確定を行いたいと思っております。その後、この二次評価に基づいて、所管局で総合評価を決定し、9月頃に評価結果をHP等で公表する予定となっております。また、委員の皆様のお名前についても公表させていただく予定となっておりますので、あらかじめご了解のほどいただきたいと思います。また、今日、時間の関係もあって事前にご質問いただいていた項目に関して十分にお答えできていない点があったかと思っておりますので、後ほど指定管理者のほうにも確認させていただいて、次の会議までにお返しするようにしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それではこれを持ちまして、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>